

建築物等清掃業務特記仕様書

第1 業務概要

- 1 業務名：広島県立広島叡智学園中学校・高等学校 令和6年度建築物等清掃業務
- 2 履行場所：広島県立広島叡智学園中学校・高等学校（豊田郡大崎上島町大串3137-2）
- 3 履行期間：令和 7 年 1 月 27 日から令和 7 年 2 月 21 日まで

4 業務仕様

- (1) 本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築保全業務 共通仕様書(令和5年版)（以下「共通仕様書」という。）、現場説明書及び質問回答書による。
- (2) 業務仕様書（特記仕様書、共通仕様書、現場説明書、質問回答書）に定めがない事項は、施設管理担当者と協議する。
- (3) 本特記仕様書の表記
 - ① ・印と○印の双方が付いた項目は、○印を適用とする。
 - ② ・印と※印の双方が付いた項目は、※印を適用する。
 - ③ ※印と○の双方が付いた項目は、○印を適用する。
 - ④ ※と○印の双方が付いた項目は、※と○印の双方を適用する。
 - ⑤ ・印しかない項目は、適用しない。

また、各項目に付記した【 】は、共通仕様書における該当項目等を示す。

例：【I1.2.3】第1編1.2.3に該当する項目。

- (4) 発注者の都合、関係する設備等の点検及び事故等により、施設管理担当者が必要と認めた場合は、施設管理担当者が指定する場所へ人員を配置すること。
- (5) 受注者は業務に支障をきたさないよう、前任の受注者から十分に引き継ぎを受けること。また、受注者の変更がある場合は、後任の受注者が業務に支障をきたさないよう、前段の業務に関する事項について後任の受注者へ十分に引き継ぎをすること。

5 対象業務

本業務の対象業務及び範囲は以下の通りとする。

(1) 本仕様書の対象業務は、次のとおりとする。

- ・ 日常清掃業務 : 対象部位は、別紙「清掃面積等調書」及び別図「清掃図面」による。
- 定期清掃業務 : 対象部位は、別紙「清掃面積等調書」及び別図「清掃図面」による。
- 窓ガラス清掃業務 : 対象部位は、別紙「清掃面積等調書」及び別図「清掃図面」による。
- 外部建具清掃業務 : 対象部位は、別紙「清掃面積等調書」及び別図「清掃図面」による。
- ・ 外壁清掃業務 : 対象部位は、別紙「清掃面積等調書」及び別図「清掃図面」による。
- ・ 建物周囲清掃業務 : 対象部位は、別紙「清掃面積等調書」及び別図「清掃図面」による。

第2 一般共通事項

1 一般事項

(1) 受注者の負担の範囲 【I1.1.3】

業務の実施に必要な施設の光熱水等の費用負担

※なし ・ 有り（ ・ 電気 ・ ガス ・ 水道 ・ ）

(2) 報告書の書式等 【I1.1.5】

業務報告書の書式等は以下により必要に応じ写真等も添付する。

…

※その他 施設管理者の承諾するもの

(3) 守秘義務

本業務の実施過程で知り得た秘密を他に漏洩してはならない。また、その職を退いた後も同様とする。

(4) 著作権その他

著作権、特許権その他第三者の権利の対象となっている清掃方法等の使用に関しては、その費用負担及び使用交渉の一切を受注者にて行う。

(5) 業務の再委託

再委託は認めない。

(6) 注意事項

ア 受注者は、業務関係者に作業衣等を着用させ、業務に従事するものであることを明確にすること。

イ 作業実施にあたっては、来庁者及び庁舎内で執務する職員等に支障のないように十分注意すること。

ウ 清掃作業完了後であっても、施設管理担当者から汚れた箇所がある等の連絡があった場合は、施設管理担当者の指示に従い迅速に対応すること。

エ 本業務の実施にあたっては、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）第10条第1項に基づく「障害を理由とする差別の解消の推進に関する広島県職員対応要領」（平成28年2月9日総務局長通知（平成28年4月1日施行））第4条に規定する合理的配慮について留意すること。

2 業務関係図書

(1) 業務計画書等

次の書類を作成し、定められた期日までに施設管理担当者の承諾を得ること。

※業務計画書【I 1.2.1】

※作業計画書【I 1.2.2】

※清掃資機材一覧表（洗剤・薬剤類を含む）

(2) 業務の記録 【I 1.2.4】

次の書類を整備し、常時閲覧が可能なように保管を行い、業務終了後に提出する。

※施設管理担当者との打合せ記録簿 ・ 作業手順書 ・ 自主点検記録簿

・ 作業日報 ※作業報告書

3 業務現場管理

(1) 業務責任者【I 1.3.2】

本業務の実施に先立ち、業務責任者を選任し、氏名、生年月日、経歴書、業務に関する資格者証（写）及び受注者との雇用関係を証明する書類について書面をもって施設管理担当者に通知する。（業務責任者は業務担当者を兼任できる。）

なお、業務責任者に変更があった場合も同様とする。

(2) 資格者の選任

業務責任者には、次の資格等を有する者を配置する。

◎ 清掃作業監督者 ・ ビルクリーニング技能士（・1級 ・ 2級 ・ 3級）

(3) 業務条件【I 1.3.3】

定期清掃業務等の定期的に行う作業の実施時間帯は次のとおりとする。

なお、実施日は施設管理担当者と協議する。

平日（開庁日：月曜日～金曜日（祝祭日を除く））

9 時 00 分～ 16 時 30 分

4 業務の実施

(1) 業務担当者【I 1.4.1】

本業務の実施に先立ち、業務担当者を選任し、氏名、生年月日、経歴書、業務に関する資格者証（写）及び受注者との雇用関係を証明する書類について書面をもって施設管理担当者に通知する。

なお、受注者は、業務担当者の技術、技能の向上を図るため、定期的に研修を実施するものと

する。

(2) 業務に密接に関連する別契約の業務等 【I 1. 4. 4】

・有り() ◎なし

(3) 行事等への立合い 【I 1. 4. 5】

・有り() ◎なし

(4) 業務の報告等 【I 1. 4. 7】

報告書等による報告期限は下記の通り。ただし、緊急性のあるものは適宜報告する。

・作業日報 翌日 時まで(翌日が休日の場合、休日明け)

◎作業報告書 翌月の15日まで

(5) 環境への配慮 【I 1. 4. 8】

・グリーン購入方針の適用: 国等による環境物品等の推進等に関する法律の趣旨を踏まえて策定した「広島県グリーン購入方針」における「21 役務」に該当する品目を調達する場合は、同方針に規定する「判断基準」を満たすものとする。

(6) 衛生消耗品 【IV1. 1. 5】

・支給品とする ◎ 受注者が購入する

(7) 感染防止対策の什器備品の拭き及び消毒作業 【IV1. 1. 4】

・有り() ◎なし

5 業務に伴う廃棄物の処理等

(1) 廃棄物等の処理 【I 1. 5. 1】

① 廃棄物の集積場所 ・別図 による。 ◎当日の指示による。

6 建物内施設等の利用

(1) 居室等の利用 【I 2. 1. 1】

・別図 による。 ◎当日の指示による。

(2) 駐車場の利用 【I 2. 1. 3】

・別図 による。 ◎当日の指示による。

7 作業用仮設物及び持込資機材等

(1) 作業用足場等 【I 2. 2. 1】 【IV1. 1. 4】

・別図 による。 ◎当日の指示による。

(2) 持込資機材等の保管場所 【IV1. 1. 11】

・別図 による。 ◎当日の指示による。

第3 特記事項

本業務の特記事項は以下による。

1 作業の特記事項

(1) 弾性床剥離洗浄の樹脂床維持剤塗布回数 【IV2. 1. 1】

◎ 剥離洗浄における樹脂床維持剤の塗布回数は1回とする。

(2) 木製床の清掃 【IV2. 1. 4】

次の作業項目を実施する。

・補修(スプレーバフィング) 床保護剤(◎ 有 ・ 無)

◎洗浄(固く絞ったモップ拭き)

(3) 衛生消耗品の仕様の指定

・衛生消耗品は発注者の負担とする。

◎衛生消耗品は受注者の負担とする。

- ①トイレトペーパーは、古紙パルプ配合率100%のものを使用するものとする。
- ②洗面所の手洗い洗剤として石鹼液又は石鹼を使用する場合は、廃油又は動植物油脂を原料としたものを使用するものとする。

清掃面積等調査

床の清掃

庁舎	場 所 (図面に記載の名称と一致)	材質等	床質	数量等	作業内容(定期清掃)	備 考
管理棟	IBコ	タイルカーペット	繊維床	9.94 ㎡	除塵	
	校長室	タイルカーペット	繊維床	12.42 ㎡	除塵	
	副校長室	タイルカーペット	繊維床	9.94 ㎡	除塵	
	職員室	タイルカーペット	繊維床	316.33 ㎡	除塵	
	応接室	タイルカーペット	繊維床	39.75 ㎡	除塵	
	会議室	タイルカーペット	繊維床	52.17 ㎡	除塵	
	キャリア支援室	タイルカーペット	繊維床	13.25 ㎡	除塵	
	カウンセリング室	タイルカーペット	繊維床	16.56 ㎡	除塵	
	相談室	タイルカーペット	繊維床	9.94 ㎡	除塵	
	保健室	長尺シート	弾性床	49.69 ㎡	表面洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
食堂棟	カフェテリア	RC	硬質床	104.09 ㎡	一般床洗浄	
	カフェトリウム	ホモジニアスタイル	弾性床	269.5 ㎡	表面洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り) ※ホモジニアスタイル(複層ビニル床タイル)に適した床維持剤を使用
	カウンター	ホモジニアスタイル	弾性床	70.35 ㎡	表面洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り) ※ホモジニアスタイル(複層ビニル床タイル)に適した床維持剤を使用
	音楽S(ステージ)	フローリング	木製床	94.34 ㎡	表面洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
	家庭	長尺シート	弾性床	69.94 ㎡	表面洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
	調理	長尺シート	弾性床	82.25 ㎡	表面洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
	荷捌	長尺シート	弾性床		表面洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
	廊下	長尺シート	弾性床		表面洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
	WC・WC前室	長尺シート	弾性床	63.09 ㎡	表面洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
	更衣室・更衣室前	長尺シート	弾性床		表面洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
	事務室	長尺シート	弾性床		表面洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
	倉庫	長尺シート	弾性床	8.32 ㎡	表面洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
体育館棟・小体育館棟	体育館	タラフレックス※ (長尺弾性塩ビシート)	弾性床	818.42 ㎡	表面洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り) ※クリヤマジャパン株式会社製品
	男子更衣室	長尺シート	弾性床	13.84 ㎡	表面洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
	女子更衣室	長尺シート	弾性床	14.22 ㎡	表面洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
	小体育館	フローリング	木製床	186.32 ㎡	表面洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
寮管理棟	玄関ホール	RC	硬質床	66.11 ㎡	一般床洗浄	
	事務室	タイルカーペット	繊維床	64.97 ㎡	除塵	
	プレイヤーールーム1、プレイヤーールーム2	タイルカーペット (一部RC)	繊維床	22.5 ㎡	除塵	
	宿直室1、宿直室2	フローリング (一部長尺シート)	木製床	24.8 ㎡	表面洗浄	シャワーブースの清掃を含む 床維持剤1回塗布(格子塗り)
教室棟1(言語棟)	LL(中1)	フローリング	木製床	132.5 ㎡	表面洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
	LL(中2)	フローリング	木製床	53 ㎡	表面洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
	LL(中3)	フローリング	木製床	53 ㎡	表面洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
	CS(中2)	フローリング	木製床	53 ㎡	表面洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
	CS(中3)	フローリング	木製床	53 ㎡	表面洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
	QS(中2)	リノリウム	弾性床	53 ㎡	剥離洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
	QS(中3)	リノリウム	弾性床	53 ㎡	剥離洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
	HB(中1)	リノリウム	弾性床	26.5 ㎡	剥離洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
	HB(中2)	リノリウム	弾性床	26.5 ㎡	剥離洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
	HB(中3)	リノリウム	弾性床	26.5 ㎡	剥離洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
	F.L.A	フローリング	木製床	96.89 ㎡	表面洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
	LL(高1)	フローリング	木製床	79.5 ㎡	表面洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
	LL(高2)	フローリング	木製床	53 ㎡	表面洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)
	LL(高3)	フローリング	木製床	53 ㎡	表面洗浄	床維持剤1回塗布(格子塗り)

教室棟 2（数社棟）	CS（高2）	フローリング	木製床	53 m ²	表面洗浄	床維持剤1回塗布（格子塗り）
	CS（高3）	フローリング	木製床	53 m ²	表面洗浄	床維持剤1回塗布（格子塗り）
	QS（高1）	リノリウム	弾性床	53 m ²	表面洗浄	床維持剤1回塗布（格子塗り）
	QS（高2）	リノリウム	弾性床	53 m ²	表面洗浄	床維持剤1回塗布（格子塗り）
	QS（高3）	リノリウム	弾性床	53 m ²	表面洗浄	床維持剤1回塗布（格子塗り）
	HB（高1）	リノリウム	弾性床	26.5 m ²	表面洗浄	床維持剤1回塗布（格子塗り）
	HB（高2）	リノリウム	弾性床	26.5 m ²	表面洗浄	床維持剤1回塗布（格子塗り）
	HB（高3）	リノリウム	弾性床	26.5 m ²	表面洗浄	床維持剤1回塗布（格子塗り）
	F.L.A	フローリング	木製床	96.88 m ²	表面洗浄	床維持剤1回塗布（格子塗り）
図書メディア棟	図書・メディアセンター	タイルカーペット	繊維床	256.3 m ²	除塵	
	カウンタースペース	タイルカーペット	繊維床	25.5 m ²	除塵	
	階段	フローリング	木製床	19.29 m ²	表面洗浄	床維持剤1回塗布（格子塗り）
	ラウンジ	フローリング	木製床	61.32 m ²	表面洗浄	床維持剤1回塗布（格子塗り）
特別教室棟	理科S（化学）	長尺シート	弾性床	79.5 m ²	表面洗浄	床維持剤1回塗布（格子塗り）
	理科S（生物）	長尺シート	弾性床	79.5 m ²	表面洗浄	床維持剤1回塗布（格子塗り）
	理科S（物理）	長尺シート	弾性床	79.5 m ²	表面洗浄	床維持剤1回塗布（格子塗り）
	技術教室	長尺シート	弾性床	79.5 m ²	表面洗浄	床維持剤1回塗布（格子塗り）
	美術教室	RC	硬質床	79.5 m ²	一般床洗浄	
	サイエンスセンター、F.L.A、アート&クラブセンター	長尺シート	弾性床	134.15 m ²	表面洗浄	床維持剤1回塗布（格子塗り）
合計				4650.88 m ²		

（床維持剤塗布数量 3551.61 m²）

窓ガラス・建具清掃（附属金物含む）

庁舎	場 所（記 号）	建具材質	数量等				作業内容	備 考
			数量	横(mm)	高(mm)	面積		
管理棟	応接室（AD-WW1）	レッドシダー材	1	6385	2700	17.2 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	応接室（AD-WW2）	レッドシダー材	1	3430	1700	5.83 m ²	洗浄	飛散防止フィルム 地上1000mm
	来客トイレ（AD-WW3）	レッドシダー材	1	790	2580	2.04 m ²	洗浄	飛散防止フィルム 地上1000mm
	IBコ（AD-WW4）	レッドシダー材	1	3580	2580	9.24 m ²	洗浄	飛散防止フィルム 地上1000mm
	校長室（AD-WW5）	レッドシダー材	1	455	2580	1.17 m ²	洗浄	飛散防止フィルム 地上1000mm
	副校長室（AD-WW6）	レッドシダー材	1	1620	2580	4.18 m ²	洗浄	飛散防止フィルム 地上1000mm
	副校長室（AD-WW7）	レッドシダー材	1	1240	3010	3.73 m ²	洗浄	飛散防止フィルム 地上1000mm
	職員室（AD-WW9）	レッドシダー材	1	5283	3010	15.9 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	職員室（AD-WW10）	レッドシダー材	1	1287	3010	3.87 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	職員室（AD-WW11）	レッドシダー材	1	4463	3010	13.4 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	ラウンジ（AD-WW12）	レッドシダー材	1	3275	2700	8.84 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	相談室（AD-WW13）	レッドシダー材	1	2670	2700	7.21 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	キャリア支援室（AD-WW14）	レッドシダー材	1	3640	2700	9.83 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	カウンセリング室（AD-WW15）	レッドシダー材	1	4490	2700	12.1 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	印刷倉庫、会議室（AD-AW1）	アルミ	2	1610	2100	8.37 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	職員室（AD-AW3）	アルミ	1	8890	2400	21.3 m ²	洗浄	飛散防止フィルム 地上1180mm
	職員室（AD-AW4）	アルミ	1	1610	2400	5.6 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	会議室（AD-AW5）	アルミ	1	3410	2100	8.87 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	保健室（AD-AW8）	アルミ	1	5250	2100	13.7 m ²	洗浄	飛散防止フィルム、バリアフリー下枠
	保健室（AD-AW9）	アルミ	1	2520	2100	6.55 m ²	洗浄	飛散防止フィルム、バリアフリー下枠
	ホール（AD-WWD1）	レッドシダー材	1	3490	3010	10.5 m ²	洗浄	飛散防止フィルム、バリアフリー下枠
	職員室（AD-WWD2）	レッドシダー材	1	5592	3010	16.8 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	受付カウンター（AD-WD17）	シナ合板フラッシュ	1	3446	2240	7.72 m ²	洗浄	飛散防止フィルム 地上700mm

食
堂
棟

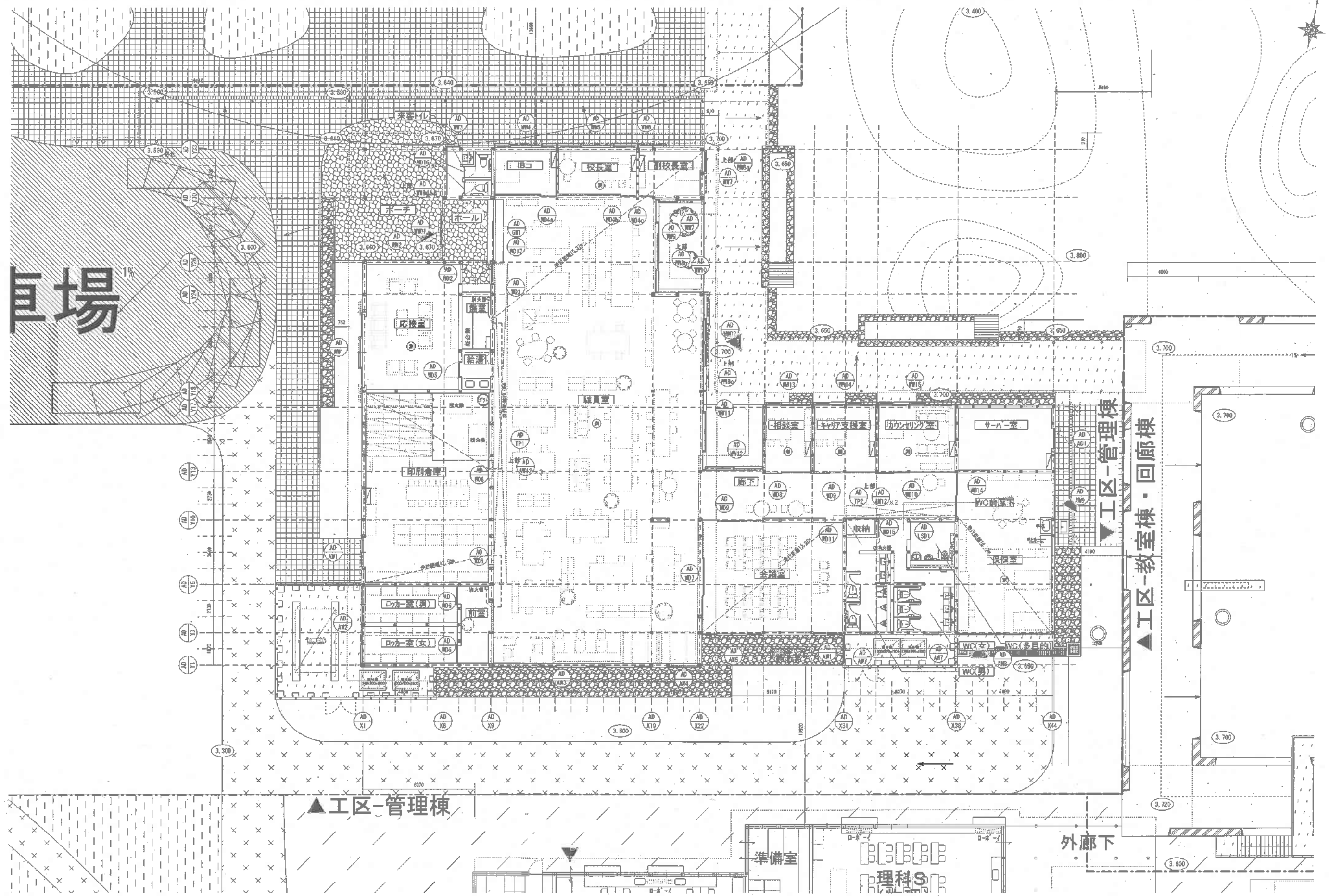
カフエトリウム(CA-AW1)	アルミ	1	1775	2400	5.15	㎡	洗浄	飛散防止フィルム
ルーム1 (CA-AW2)	アルミ	2	2225	2400	12.9	㎡	洗浄	飛散防止フィルム
カフエトリウム(CA-AW3)	アルミ	1	4070	2000	8.14	㎡	洗浄	飛散防止フィルム 地上1000mm
放送室 (CA-AW4)	アルミ	2	2225	2000	8.9	㎡	洗浄	飛散防止フィルム 地上1000mm
カフェ、家庭、調理 (CA-AW5)	アルミ	1	10075	2000	20.2	㎡	洗浄	飛散防止フィルム 地上1000mm
調理 (CA-AW6)	アルミ	1	6800	2000	13.6	㎡	洗浄	飛散防止フィルム、バリアフリー下枠 地上850mm
調理 (CA-AW7)	アルミ	1	3160	2000	6.32	㎡	洗浄	飛散防止フィルム 地上850mm
調理 (CA-AW8)	アルミ	1	4070	2000	8.14	㎡	洗浄	飛散防止フィルム 地上850mm
調理 (CA-AW9)	アルミ	1	2250	2000	4.5	㎡	洗浄	飛散防止フィルム 地上850mm
準備(調理) (CA-AW10)	アルミ	1	1735	2250	4.77	㎡	洗浄	飛散防止フィルム 地上150mm
調理 (CA-AW11)	アルミ	1	4980	2000	9.96	㎡	洗浄	飛散防止フィルム 地上850mm
和室 (CA-AW12)	アルミ	1	3335	2000	8.34	㎡	洗浄	飛散防止フィルム 地上400mm
WC (CA-AW13)	アルミ	3	815	600	1.47	㎡	洗浄	飛散防止フィルム、地上1800mm ※建物外部のみ洗浄
売店 (CA-AW14)	アルミ	1	3085	2400	8.95	㎡	洗浄	飛散防止フィルム、バリアフリー下枠
音楽室 (CA-AW15)	アルミ	1	7980	2400	19.2	㎡	洗浄	飛散防止フィルム、バリアフリー下枠 地上600mm
準備室(音楽室) (CA-AW16)	アルミ	1	4050	2400	9.72	㎡	洗浄	飛散防止フィルム、バリアフリー下枠 地上600mm
調理室 (CA-AW21)	アルミ	1	14275	1400	20	㎡	洗浄	地上1000mm ※建物外部のみ洗浄
荷捌室 (CA-AW22)	アルミ	1	1800	1400	2.52	㎡	洗浄	飛散防止フィルム、地上1000mm ※建物外部のみ洗浄
事務室 (CA-AW26)	アルミ	1	2930	1400	4.1	㎡	洗浄	飛散防止フィルム、地上1000mm ※建物外部のみ洗浄
カフエトリウム(CA-AD1)	アルミ	4	3110	2965	36.9	㎡	洗浄	飛散防止フィルム
カフェテラス (CA-AD2)	アルミ	1	10317	2565	26.5	㎡	洗浄	飛散防止フィルム
カフェテリア (CA-AD3)	アルミ	1	4980	2965	14.8	㎡	洗浄	飛散防止フィルム
カフェテリア (CA-SD3)	ZAM鋼板t1.6	1	3224	2905	9.37	㎡	洗浄	飛散防止フィルム、バリアフリー下枠、ストッパー
カフェテリア (CA-SD4)	ZAM鋼板t1.6	1	2440	2905	7.09	㎡	洗浄	飛散防止フィルム、バリアフリー下枠、ストッパー
調理 (CA-SW1)	St-t1.6	1	632	2000	1.26	㎡	洗浄	飛散防止フィルム 地上850mm
調理 (CA-SW2)	St-t1.6	1	4160	2000	8.32	㎡	洗浄	飛散防止フィルム 地上850mm
音楽室 (CA-ADi2)	アルミ	1	10200	3500	35.7	㎡	洗浄	
カフエトリウム(CA-ADi3)	アルミ	1	3110	3000	9.33	㎡	洗浄	
カフエトリウム(CA-ADi4)	アルミ	1	2155	3000	6.47	㎡	洗浄	
厨房提供カウンター (CA-ADi5)	アルミ	1	15000	2400	36	㎡	洗浄	
放送室 (CA-WD1)	シナ合板フラッシュ	1	1480	1100	3.77	㎡	洗浄	飛散防止フィルム 地上1000mm
ルーム1 (CA-WD2)	シナ合板フラッシュ	1	1480	2100	5.25	㎡	洗浄	飛散防止フィルム
暗幕収納 (CA-WD9)	シナ合板フラッシュ	1	720	3000	2.16	㎡	洗浄	

体
育
館
棟
・
小
体
育
館
棟

WC、更衣室、器具庫(G-AW1)	アルミ	8	700	600	3.36	㎡	洗浄	地上1795mm
体育教官室(G-AW2)	アルミ	1	4640	1400	6.5	㎡	洗浄	飛散防止フィルム 地上995mm
体育教官室(G-AW3)	アルミ	1	1495	1400	2.09	㎡	洗浄	飛散防止フィルム、メラミン化粧板(窓台) 地上995mm
体育館1階(G-AD1)	アルミ	2	8388	2940	49.3	㎡	洗浄	飛散防止フィルム
体育館1階(G-AD2)	アルミ	1	6974	2940	20.5	㎡	洗浄	飛散防止フィルム
体育館1階(G-AD3)	アルミ	1	10545	2940	31	㎡	洗浄	飛散防止フィルム
出入り口 (G-SD2)	St-t1.6	1	100	2060	1.84	㎡	洗浄	飛散防止フィルム
武道館(北東) (SG-AD1)	アルミ	1	5283	2975	15.7	㎡	洗浄	飛散防止フィルム
武道館(南東) (SG-AD1)	アルミ	1	8178	2975	24.3	㎡	洗浄	飛散防止フィルム
武道館(南西) (SG-AD1)	アルミ	1	5504	2975	16.4	㎡	洗浄	飛散防止フィルム
武道館(北西) (SG-AD1)	アルミ	1	5333	2975	15.9	㎡	洗浄	飛散防止フィルム
ジャロジー窓 (SG-AW2)	アルミ	2	330	1400	0.92	㎡	洗浄	地上995mm
突出し窓 (SG-AW3)	アルミ	3	700	600	1.26	㎡	洗浄	地上1800mm
FIX (SG-AW4)	アルミ	9	2600	1347	31.5	㎡	洗浄	地上3535mm ※足場(屋根)あり

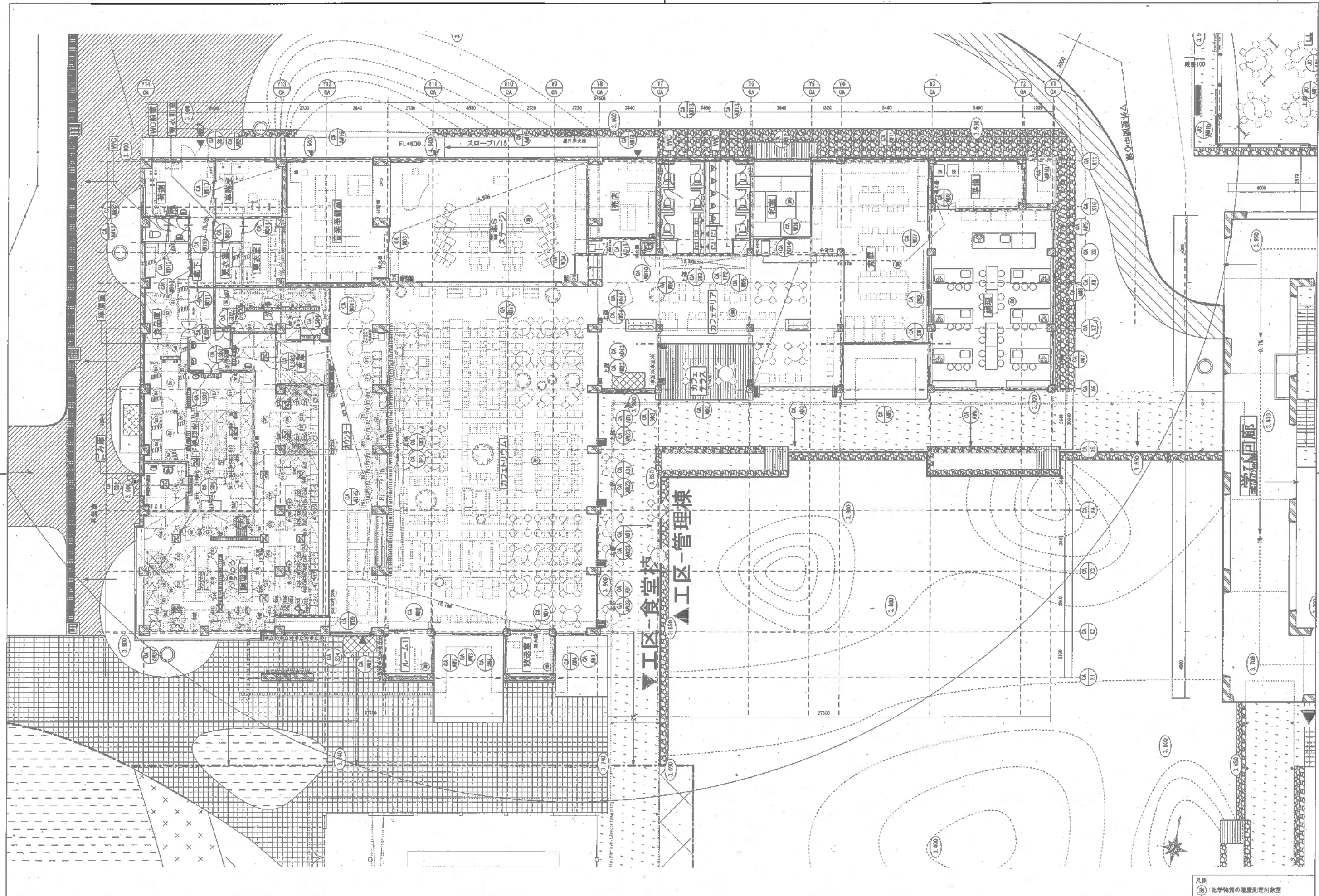
	突出し窓 (SG-AW5)	アルミ	1	1585	1265	2.01 m ²	洗浄	フロストフィルム貼、地上3535mm ※足場(屋根)あり
	出入り口 (SG-SD1)	St-t1.6	1	1610 100 100	605 2100 2100	1.39 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
寮管理棟	玄関ホール (DA-WW1)	ステンレス	1	5290	2400	12.7 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	玄関ホール、事務室 (DA-WW2)	アルミ	2	3260 4550	2604 1654	16 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	事務室 (DA-WW3)	アルミ	1	3406	2599	8.85 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	プレイヤーールーム (DA-WW4)	アルミ	2	1630	1685	5.49 m ²	洗浄	地上300mm
	宿直室 (DA-AW1)	アルミ	2	2550	1085	5.53 m ²	洗浄	飛散防止フィルム 地上900mm
	吹抜 (DA-AW2)	アルミ	2	5182	882	9.14 m ²	洗浄	飛散防止フィルム、地上4100mm ※足場(屋根)あり
	吹抜 (DA-AW3)	アルミ	2	8822	612	10.8 m ²	洗浄	飛散防止フィルム、地上4100mm ※足場(屋根)あり
	便所、多目的便所他 (DA-AW4)	アルミ	4	180	900	0.65 m ²	洗浄	飛散防止フィルム 地上1075mm
	吹抜 (DA-AW5)	ステンレス	20	720	200	2.88 m ²	洗浄	地上5305mm ※足場(屋根)あり
教室棟 1 (言語棟)	HB (JC-WW1a)	レッドシダー材	2	1695	2500	8.48 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	LL、HB (JC-ww1b)	レッドシダー材	2	1695	2685	9.1 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	QS (JC-ww1c)	レッドシダー材	1	1695	2865	4.86 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	LL、QS (JC-ww1d)	レッドシダー材	4	1695	3230	21.9 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	LL (JC-ww1e)	レッドシダー材	1	1695	2683	4.55 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	CS (JC-WW3a)	レッドシダー材	2	7788	2685	41.8 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	LL、QS (JC-WW3b)	レッドシダー材	2	7788	3230	50.3 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	F.L.A. (JC-WW4)	レッドシダー材	2	2510	3230	16.2 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	F.L.A. (JC-WW5)	レッドシダー材	4	2964	3230	38.3 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	CS (JC-WW6)	レッドシダー材	2	1014	2865	5.81 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	QS (JC-WW7)	レッドシダー材	1	3590	2955	10.6 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	HB (JC-WW8)	レッドシダー材	1	7070	745	5.27 m ²	洗浄	飛散防止フィルム 地上2100mm
	LL、F.L.A.上部 (JC-WW9)	レッドシダー材	2	6336	1130	14.3 m ²	洗浄	飛散防止フィルム 地上2100mm
	LL、F.L.A.上部 (JC-WW10)	レッドシダー材	1	5376	1130	6.07 m ²	洗浄	飛散防止フィルム 地上2100mm
	F.L.A.上部 (JC-WW11)	レッドシダー材	1	4371	1130	4.94 m ²	洗浄	飛散防止フィルム 地上2100mm
	F.L.A.上部 (JC-WW12)	レッドシダー材	1	2141	1130	2.42 m ²	洗浄	飛散防止フィルム 地上2100mm
	LL上部 (JC-WW13)	レッドシダー材	2	3562	1130	8.05 m ²	洗浄	飛散防止フィルム 地上2100mm
	WC上部 (JC-WW14)	レッドシダー材	1	7362	450	3.31 m ²	洗浄	飛散防止フィルム 地上2100mm
	WC上部 (JC-WW15)	レッドシダー材	1	5399	450	2.43 m ²	洗浄	飛散防止フィルム 地上2100mm
	F.L.A.出入口 (JC-WWD1)	レッドシダー材	1	2550	3230	8.24 m ²	洗浄	飛散防止フィルム、バリアフリー下枠
教室棟 2 (数社棟)	HB (HC-WW1a)	米ヒバ	1	1695	2500	4.24 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	HB (HC-WW1b)	米ヒバ	1	1695	2592	4.39 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	LL、HB (HC-WW1c)	米ヒバ	3	1695	2683	13.6 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	QS (HC-WW1d)	米ヒバ	2	1695	2865	9.71 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	LL、QS (HC-WW1e)	米ヒバ	4	1695	3290	22.3 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	CS (HC-WW2a)	米ヒバ	1	2964	2683	7.95 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	LL (HC-WW2b)	米ヒバ	1	2964	3040	9.01 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	LL、QS (HC-WW2c)	米ヒバ	2	2964	3290	19.5 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	LL (HC-WW2d)	米ヒバ	1	2964	2940	8.71 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	CS (HC-WW3a)	米ヒバ	1	7788	2683	20.9 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	QS (HC-WW3c)	米ヒバ	2	7788	3230	50.3 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	F.L.A. (HC-WW4)	米ヒバ	2	2510	3290	16.5 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	F.L.A. (HC-WW5)	米ヒバ	1	2964	3290	9.75 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	CS (HC-WW6)	米ヒバ	2	1014	2865	5.81 m ²	洗浄	飛散防止フィルム
	ユニット4のHB上部 (HC-WW7)	St t2.3	1	5490	583	3.2 m ²	洗浄	飛散防止フィルム 地上2100mm
	LL、F.L.A.上部 (HC-WW10)	St t2.3	2	6336	1130	14.3 m ²	洗浄	飛散防止フィルム 地上2100mm

	LL、F.L.A.上部(HC-WW11)	St t2.3	1	5376	1130	6.07 m ²	洗淨	飛散防止フィルム 地上2100mm
	F.L.A.上部(HC-WW12)	St t2.3	1	4371	1130	4.94 m ²	洗淨	飛散防止フィルム 地上2100mm
	F.L.A.上部(HC-WW13)	St t2.3	1	2141	1130	2.42 m ²	洗淨	飛散防止フィルム 地上2100mm
	WC前上部(HC-WW14)	St t2.3	1	3562	1130	4.03 m ²	洗淨	飛散防止フィルム 地上2100mm
	LL上部(HC-WW15)	St t2.3	1	1748	1130	1.98 m ²	洗淨	飛散防止フィルム 地上2100mm
	CS地窓(HC-AW3)	アルミ	4	1540	900	5.54 m ²	洗淨	
	F.L.A.出入口(HC-WWD1)	米ヒバ	1	2550	3290	8.39 m ²	洗淨	飛散防止フィルム、バリアフリー下枠
図書 メ デ イ ア 棟	1階東面(M-WW1)	St t1.6	1	7048	2550	18 m ²	洗淨	飛散防止フィルム、バリアフリー下枠
	1階東面(M-WW2)	St t1.6	1	5920	2550	15.1 m ²	洗淨	飛散防止フィルム
	1階東面(M-WW3)	St t1.6	1	7740	2550	19.7 m ²	洗淨	飛散防止フィルム、バリアフリー下枠
	1階南面(M-WW4)	St t1.6	1	6830	2550	17.4 m ²	洗淨	飛散防止フィルム
	1階南面(M-WW5)	St t1.6	1	5228	2550	13.3 m ²	洗淨	飛散防止フィルム、バリアフリー下枠
	1階西面(M-WW6)	St t1.6	1	5240	745	3.9 m ²	洗淨	飛散防止フィルム 地上700mm
	EV前(M-AW1)	アルミ	1	1800	2100	3.78 m ²	洗淨	飛散防止フィルム
	出入口(M-WWD1)	St t1.6	1	4340	2095	9.09 m ²	洗淨	飛散防止フィルム、バリアフリー下枠
特別 教 室 棟	生物(SC-WW1a)	米ヒバ	1	1240	2400	2.98 m ²	洗淨	飛散防止フィルム
	美術準備室(SC-WW1b)	米ヒバ	1	1240	2880	3.57 m ²	洗淨	飛散防止フィルム
	技術準備室・美術準備室(SC-WW1c)	米ヒバ	2	1240	2925	7.25 m ²	洗淨	飛散防止フィルム
	技術準備室(SC-WW2)	米ヒバ	1	785	3230	2.54 m ²	洗淨	飛散防止フィルム
	化学(SC-WW3a)	米ヒバ	1	1695	2400	4.07 m ²	洗淨	飛散防止フィルム
	美術(SC-WW3b)	米ヒバ	1	1695	3048	5.17 m ²	洗淨	飛散防止フィルム
	物理(SC-WW3c)	米ヒバ	1	1695	3140	5.32 m ²	洗淨	飛散防止フィルム
	技術(SC-WW3e)	米ヒバ	1	1695	2925	4.96 m ²	洗淨	飛散防止フィルム
	物理、美術(SC-WW3d)	米ヒバ	2	1462	3230	9.44 m ²	洗淨	飛散防止フィルム
	物理(SC-WW4a)	米ヒバ	1	5782	2923	16.9 m ²	洗淨	飛散防止フィルム
	美術(SC-WW4b)	米ヒバ	1	5692	3165	18 m ²	洗淨	飛散防止フィルム
	技術室(SC-WW5)	米ヒバ	1	7788	2923	22.8 m ²	洗淨	飛散防止フィルム
	物理(SC-WW6)	米ヒバ	1	3884	2865	11.1 m ²	洗淨	飛散防止フィルム
	WC(男)(女)(SC-WW7)	米ヒバ	2	607	600	0.73 m ²	洗淨	フロストフィルム貼
	生物室(SC-WW8)	米ヒバ	1	2550	2910	7.42 m ²	洗淨	飛散防止フィルム
	F.L.A.(SC-WW9)	米ヒバ	1	2306	3230	7.45 m ²	洗淨	飛散防止フィルム
	準備室2(SC-WW10)	米ヒバ	1	3760	2400	9.02 m ²	洗淨	飛散防止フィルム
	準備室1(SC-WW11)	米ヒバ	1	4670	2400	11.2 m ²	洗淨	飛散防止フィルム
	工房(SC-WW12)	米ヒバ	1	5282	2400	12.7 m ²	洗淨	飛散防止フィルム
	化学(SC-WW13)	米ヒバ	1	8806	2058	18.1 m ²	洗淨	飛散防止フィルム 地上900mm
	美術準備室上部(SC-WW20)	St t2.3	1	9080	525	4.77 m ²	洗淨	地上2400mm
	美術準備室上部(SC-WW21a)	St t2.3	1	1293	480	0.62 m ²	洗淨	飛散防止フィルム 地上2400mm
	技術準備室上部(SC-WW21b)	St t2.3	1	1293	525	0.68 m ²	洗淨	飛散防止フィルム 地上2400mm
	美術準備室上部(SC-WW22)	St t2.3	1	1811	765	1.39 m ²	洗淨	飛散防止フィルム 地上2400mm
	技術準備室上部(SC-WW22)	St t2.3	1	1811	525	0.95 m ²	洗淨	飛散防止フィルム 地上2400mm
	F.L.A.出入口(SC-WWD1)	米ヒバ	1	2643	3230	8.54 m ²	洗淨	飛散防止フィルム、バリアフリー下枠
合 計				1708.37 m ²				

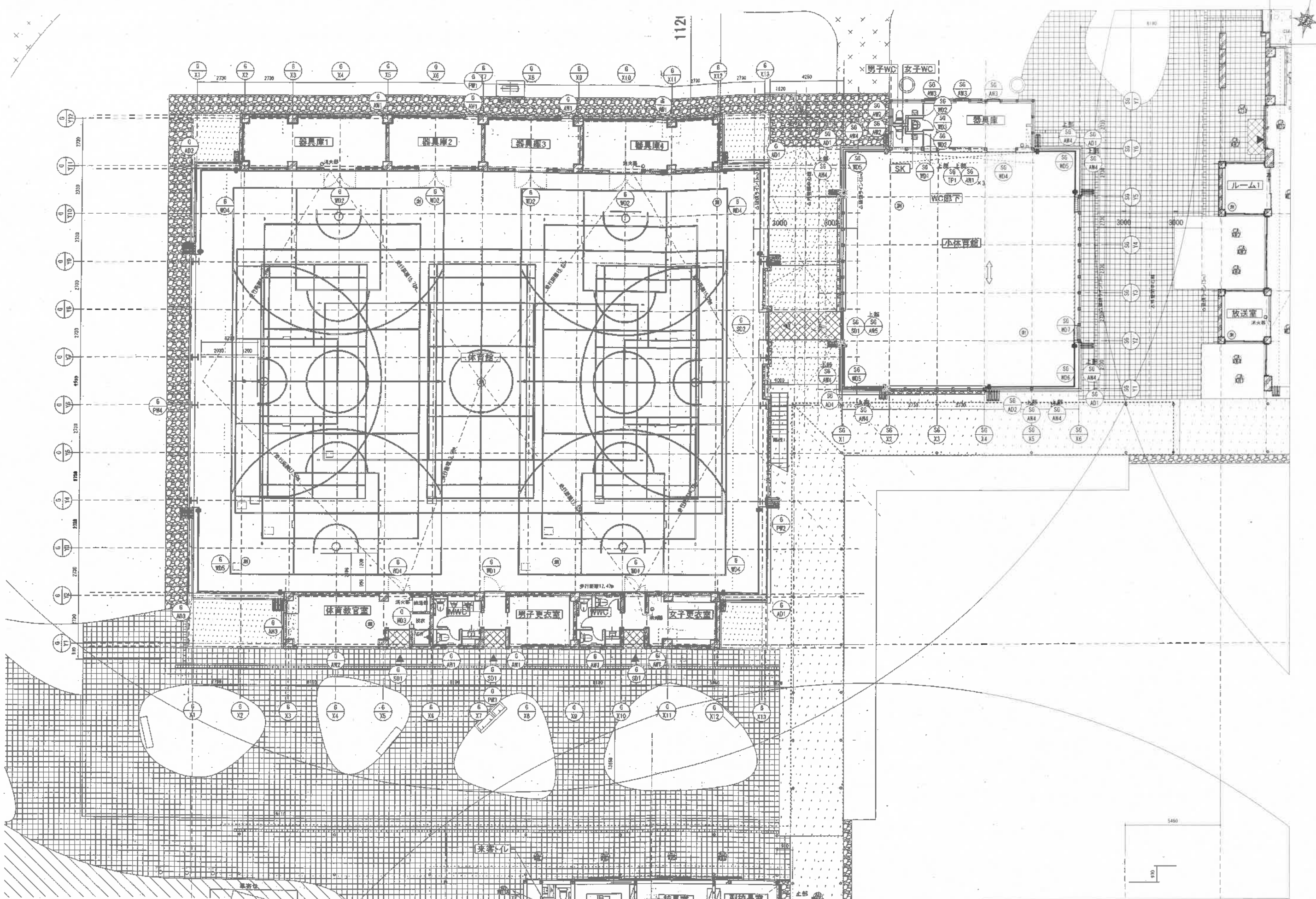


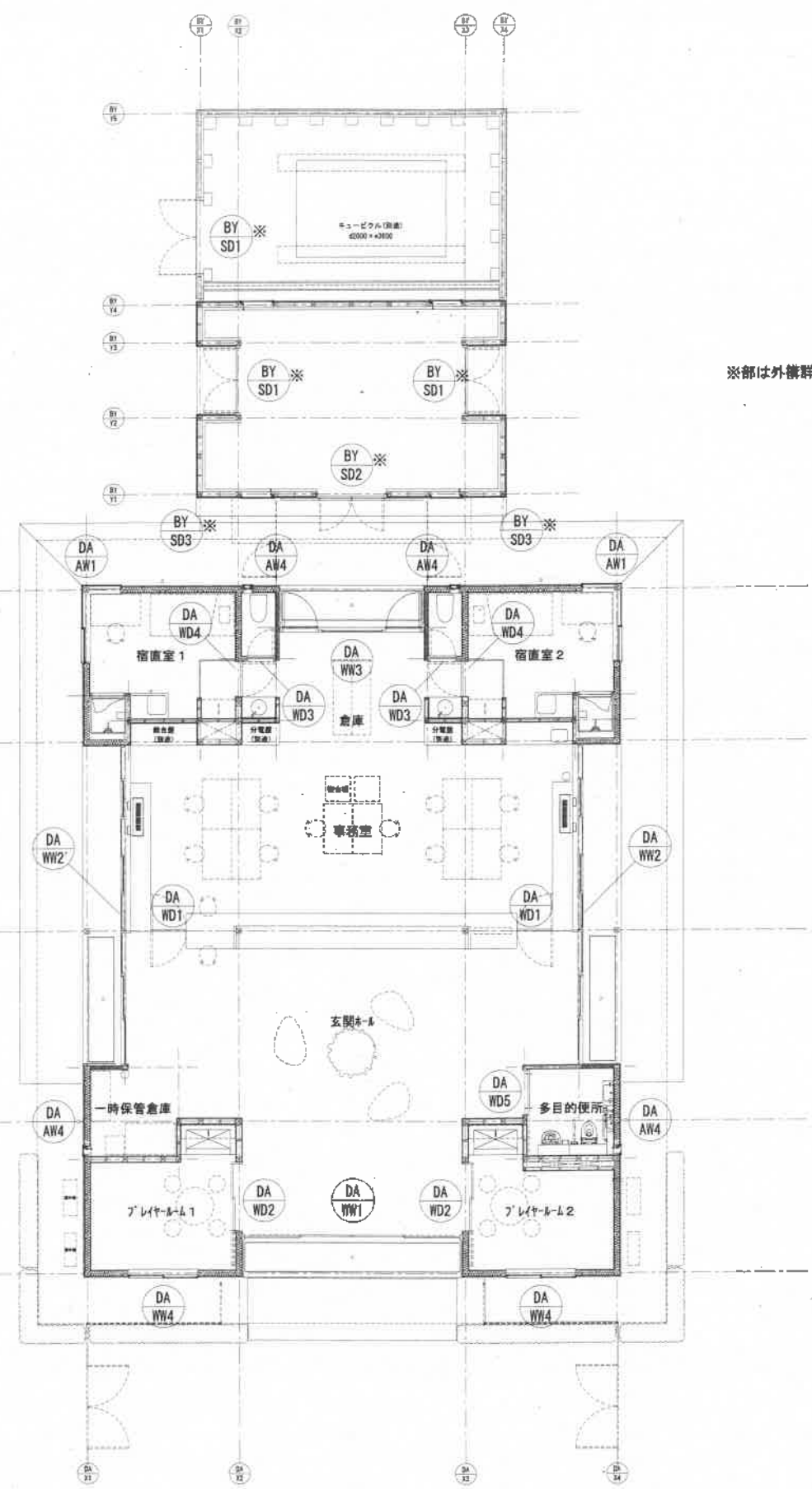
広島県土木建築局営繕課	審査 ①	調査工事担当者	G	L	課長	課員	審査 ②	調査工事担当者	G	L	課長	課員	設計者・設計事務所名 C+A・土井建築設計共同体 代表企業 ㈱ シーラクス アンド アソシエイツ 愛知県名古屋市中区大須3-5-13 H&Eビル10F 一級建築士事務所 愛知県知事登録(シ-25)第9152号 一級建築士 第240066号 宇野 亨 印	工事名 広島県立広島観智学園中学校・高等学校(仮称) 新館棟新築工事	図面内容・縮尺 平面図-管理棟 1/100(A1) 1/200(A3)	設計 平成29年	種別 図面番号 A-08-01

記号	形式	AD-001	FIX	AD-001	AD-002	開子戸	AD-003	開子戸	AD-004a	引戸(1枚引)	AD-004b	引戸(1枚引)	AD-004c	引戸(1枚引)	AD-005	片開き戸	AD-006	引戸(1枚引)	AD-007	引分引戸(2枚引)																																																																																				
数量	場所	4	洗付カウンター上		1	必設置	1	洗面室	1	下配管	1	下配管	1	下配管	1	洗面	4	洗面・ロッカー	1	洗面																																																																																				
<table border="1"> <tr> <td>器具</td> <td>材料</td> <td>仕上</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>材料</td> <td>仕上</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> </tr> <tr> <td>食物</td> <td>材料</td> <td>仕上</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> </tr> <tr> <td>ガラス</td> <td>防炎設備</td> <td>備考</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> </tr> </table>																					器具	材料	仕上	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	種	材料	仕上	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	食物	材料	仕上	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	ガラス	防炎設備	備考	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装
器具	材料	仕上	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装																																																																																				
種	材料	仕上	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装																																																																																				
食物	材料	仕上	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装																																																																																				
ガラス	防炎設備	備考	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装																																																																																				
<table border="1"> <tr> <td>記号</td> <td>形式</td> <td>AD-008</td> <td>片引戸+上部FIX</td> <td>AD-009</td> <td>片引戸+上部FIX</td> <td>AD-010</td> <td>引戸(1枚引)+上部FIX</td> <td>AD-011</td> <td>引戸(1枚引)</td> <td>AD-012</td> <td>片開き戸</td> <td>AD-013</td> <td>片開き戸</td> <td>AD-014</td> <td>引戸(1枚引)+上部FIX</td> <td>AD-015</td> <td>片開き戸×2</td> <td>AD-016</td> <td>片開き戸</td> <td>AD-017</td> <td>引分付窓FIX</td> <td>AD-018</td> <td>引分付窓FIX</td> <td>AD-019</td> <td>引分付窓FIX</td> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>場所</td> <td>1</td> <td>洗面</td> <td>2</td> <td>洗面・キャリア実装</td> <td>1</td> <td>洗面・キャリア実装</td> <td>1</td> <td>洗面</td> <td>2</td> <td>洗面</td> <td>1</td> <td>洗面</td> <td>1</td> <td>洗面</td> <td>1</td> <td>洗面</td> <td>2</td> <td>洗面</td> <td>1</td> <td>洗面・キャリア実装</td> <td>1</td> <td>洗面・キャリア実装</td> <td>1</td> <td>洗面・キャリア実装</td> </tr> </table>																					記号	形式	AD-008	片引戸+上部FIX	AD-009	片引戸+上部FIX	AD-010	引戸(1枚引)+上部FIX	AD-011	引戸(1枚引)	AD-012	片開き戸	AD-013	片開き戸	AD-014	引戸(1枚引)+上部FIX	AD-015	片開き戸×2	AD-016	片開き戸	AD-017	引分付窓FIX	AD-018	引分付窓FIX	AD-019	引分付窓FIX	数量	場所	1	洗面	2	洗面・キャリア実装	1	洗面・キャリア実装	1	洗面	2	洗面	1	洗面	1	洗面	1	洗面	2	洗面	1	洗面・キャリア実装	1	洗面・キャリア実装	1	洗面・キャリア実装																																
記号	形式	AD-008	片引戸+上部FIX	AD-009	片引戸+上部FIX	AD-010	引戸(1枚引)+上部FIX	AD-011	引戸(1枚引)	AD-012	片開き戸	AD-013	片開き戸	AD-014	引戸(1枚引)+上部FIX	AD-015	片開き戸×2	AD-016	片開き戸	AD-017	引分付窓FIX	AD-018	引分付窓FIX	AD-019	引分付窓FIX																																																																															
数量	場所	1	洗面	2	洗面・キャリア実装	1	洗面・キャリア実装	1	洗面	2	洗面	1	洗面	1	洗面	1	洗面	2	洗面	1	洗面・キャリア実装	1	洗面・キャリア実装	1	洗面・キャリア実装																																																																															
<table border="1"> <tr> <td>器具</td> <td>材料</td> <td>仕上</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>材料</td> <td>仕上</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> </tr> <tr> <td>食物</td> <td>材料</td> <td>仕上</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> </tr> <tr> <td>ガラス</td> <td>防炎設備</td> <td>備考</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> <td>シナ合板フラッシュ</td> <td>ウレタンクリア塗装</td> </tr> </table>																					器具	材料	仕上	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	種	材料	仕上	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	食物	材料	仕上	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	ガラス	防炎設備	備考	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装
器具	材料	仕上	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装																																																																																				
種	材料	仕上	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装																																																																																				
食物	材料	仕上	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装																																																																																				
ガラス	防炎設備	備考	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装	シナ合板フラッシュ	ウレタンクリア塗装																																																																																				

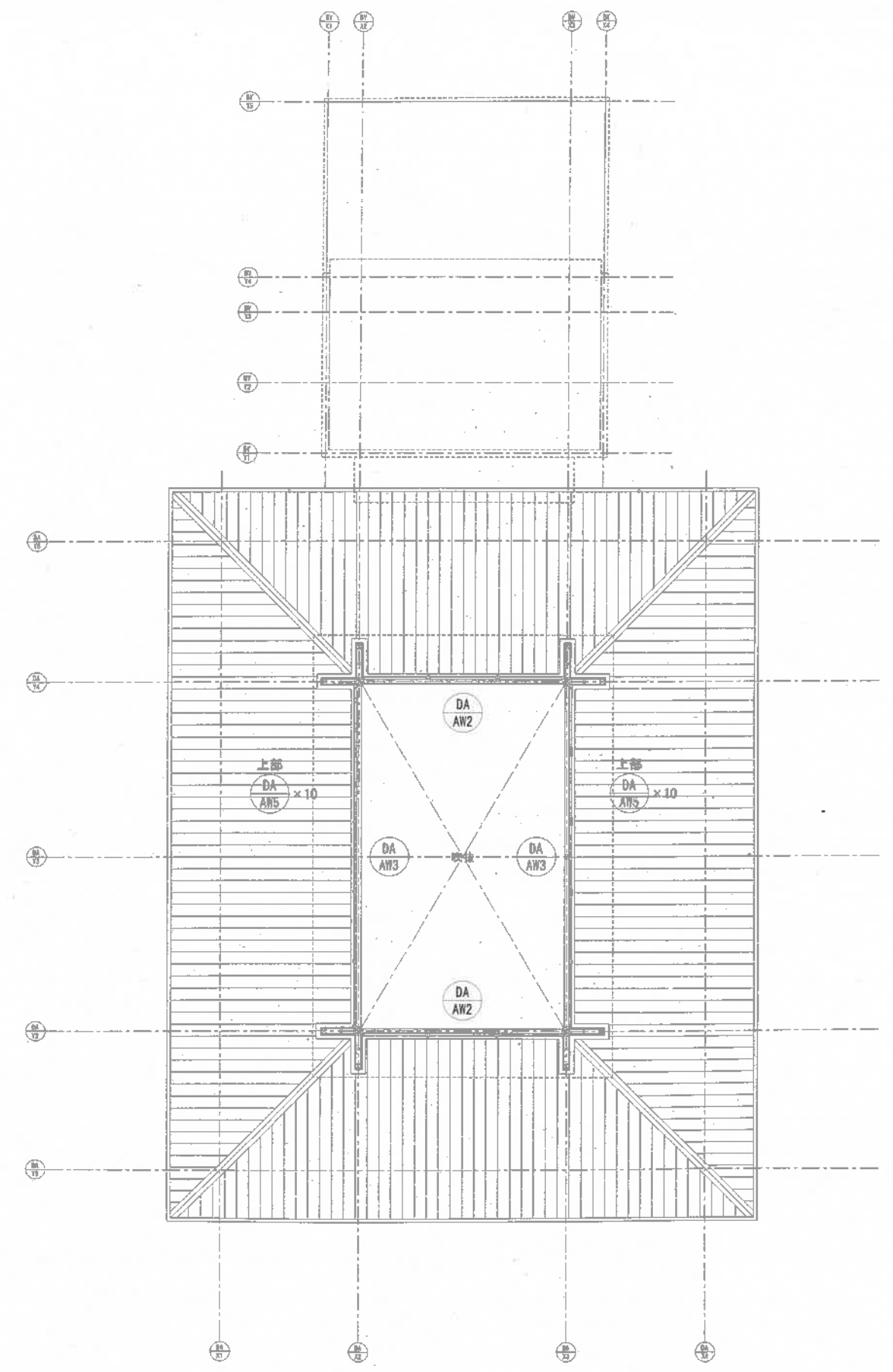


広島県土木建築局営繕課 ① ②	設計者・設計事務所名 G・A・土井建築設計共同 代表企業 明 シーラカンス アンド アソシエイツ 愛知県名古屋市中区大須3-13 1145-1101 1F 一級建築士事務所 愛知県知事登録(1-25)第9152号 一級建築士 第24000号 宇野 孝 印	工事名 広島県立広島教習学園中学校・高等学校(仮称) 食堂棟新築工事	図面内容・縮尺 平面図-食堂棟 1/100(A1) 1/200(A3)	設計 平成29年 図面番号 A-08-01
-----------------------	--	--	--	--------------------------------

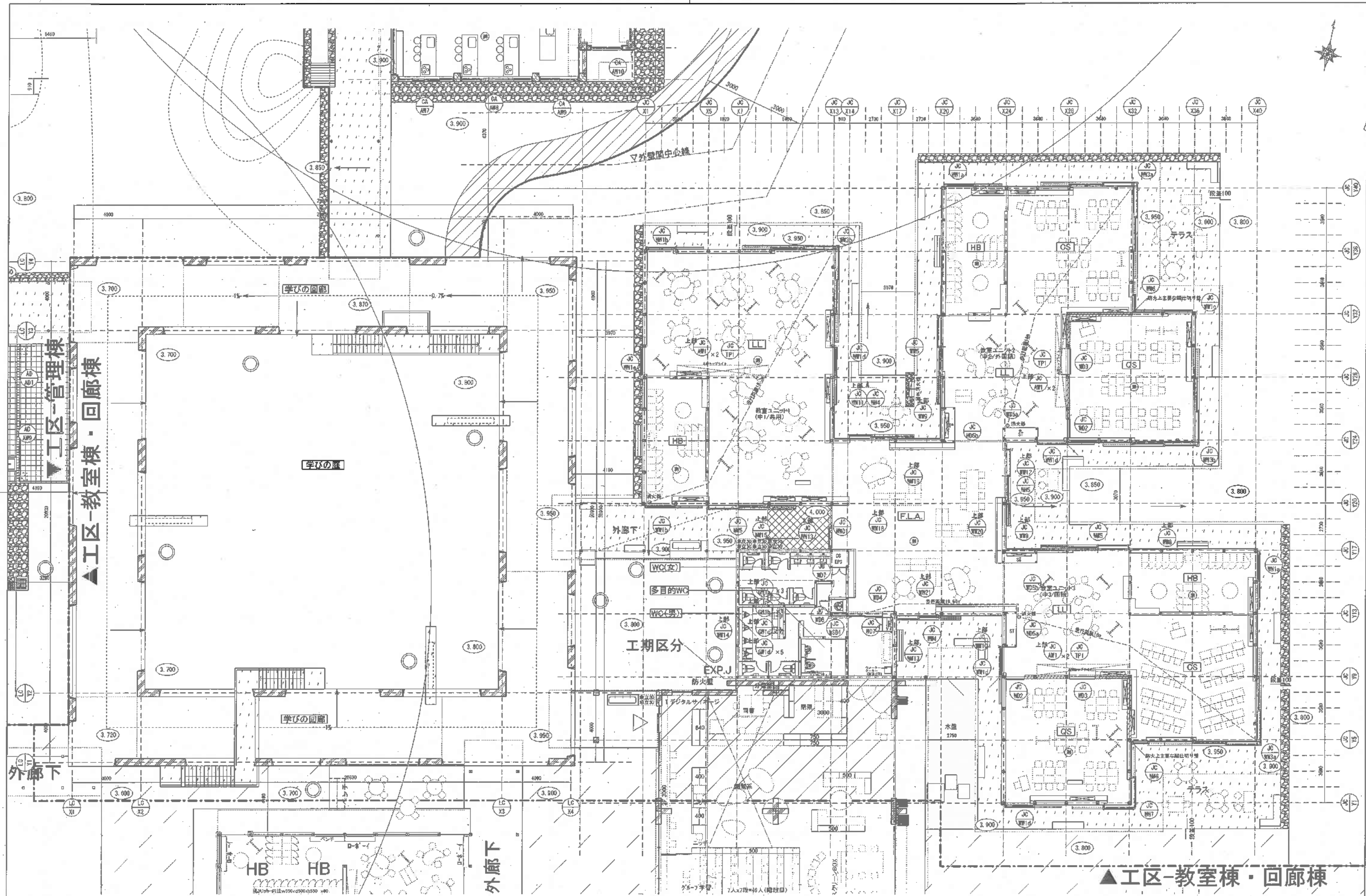




※部は外構詳細図による。



広島県土木建築局営繕課 ①	計画工事年度 G L 課長 課員 ②	設計者・設計事務所名 C+A・土木建築設計共同体 代表企業 鶴シーラカンズ アンド アソシエイツ 世田谷区百恵町中區大塚3-5-13 HASE-BLDG.1 6F 一般建築士事務所 世田谷区大塚(1-25) 東3152号 一般建築士 第246064号 志野 甲	工事名 広島県立広島観智学園中学校・高等学校 (仮称) 兼ほか新築工事	計画工事年度 G L 課長 課員 ②	図面内容・縮尺 建築表 1/100 (A1) 1/200 (A3)	設計 平成29年	種別
							図面番号 A-DA-18-02



広島県土木建築局営繕課

調査	監理工事担当	G	L	課員	課員	監理工事担当	G	L	課員	課員
1										

設計者・設計事務所名
O・A・土井建築設計共同
代表企業 田 シーラクス アンド アソシエイツ
定知県名古市市中央区大塚3-5-13 BASE-101 1号
一般建築士事務所 定知県知事登録第11-259 第162号
一般建築士 第2429号 平野 幸 印

工事名

広島県立広島観智学園中学校・高等学校（仮称）
教室棟ほか1棟新築工事

図面内容・縮尺

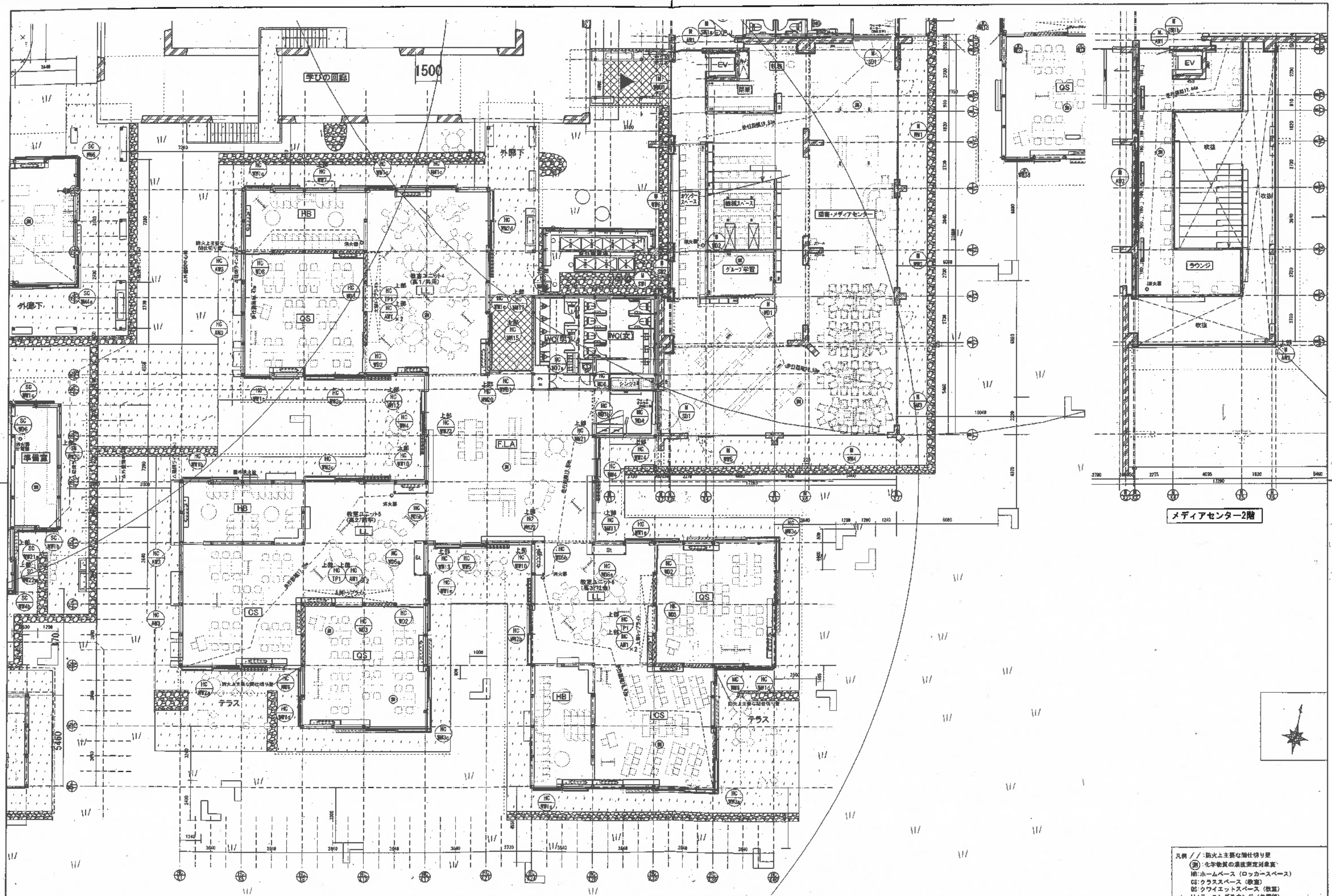
平面図-教室棟1、学びの回廊

1/100 (A1)
1/200 (A3)

凡例 (調) 化学物質の濃度測定対象
//// 防火上重要な隔仕切り壁

設計 種類

平成29年 図面番号
A-08-01



メディアセンター2階

- 凡例 // 防火上主要な仕切り壁
 (●) : 化学物質の濃度測定対象箇
 HB : ホームベース (ロカースペース)
 CS : クラススペース (教室)
 LL : ラーニングラウンジ (共用部)
 F.L.A. : フレキシブルラーニングエリア (共用部)

広島県土木建築局営繕課

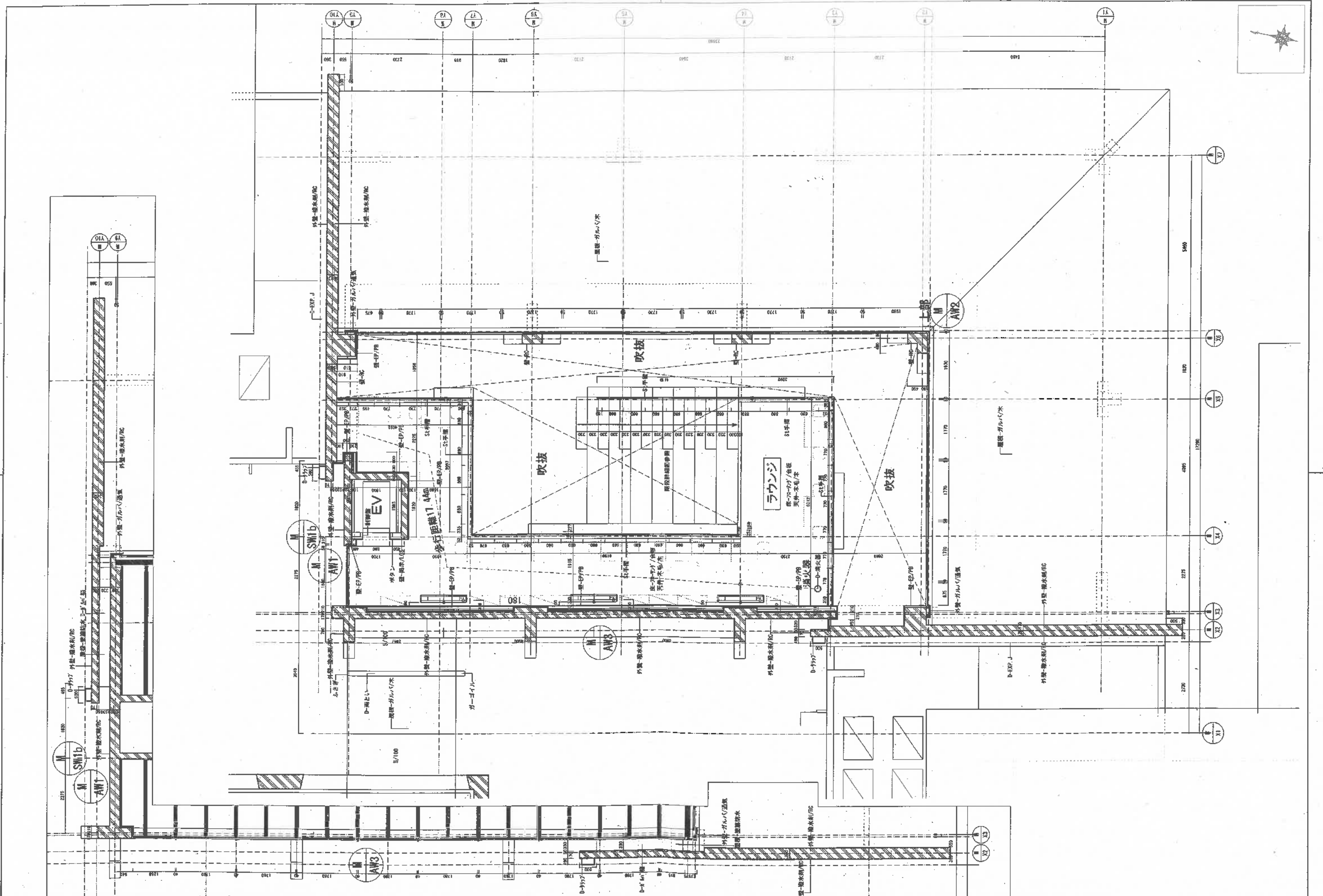
監理工事担当者	G	L	課長	課員	監理工事担当者	G	L	課長	課員
①					②				

設計者・設計事務所名
 C+A・土井建築設計共同
 代表企業 株式会社シーラクス アンド アソシエイツ
 広島県広島市中区大須2-13 HASE-BLDG. 1F
 一級建築士事務所 広島県知事登録(4-23)第9152号
 一級建築士 第24606号 中野 亨 印

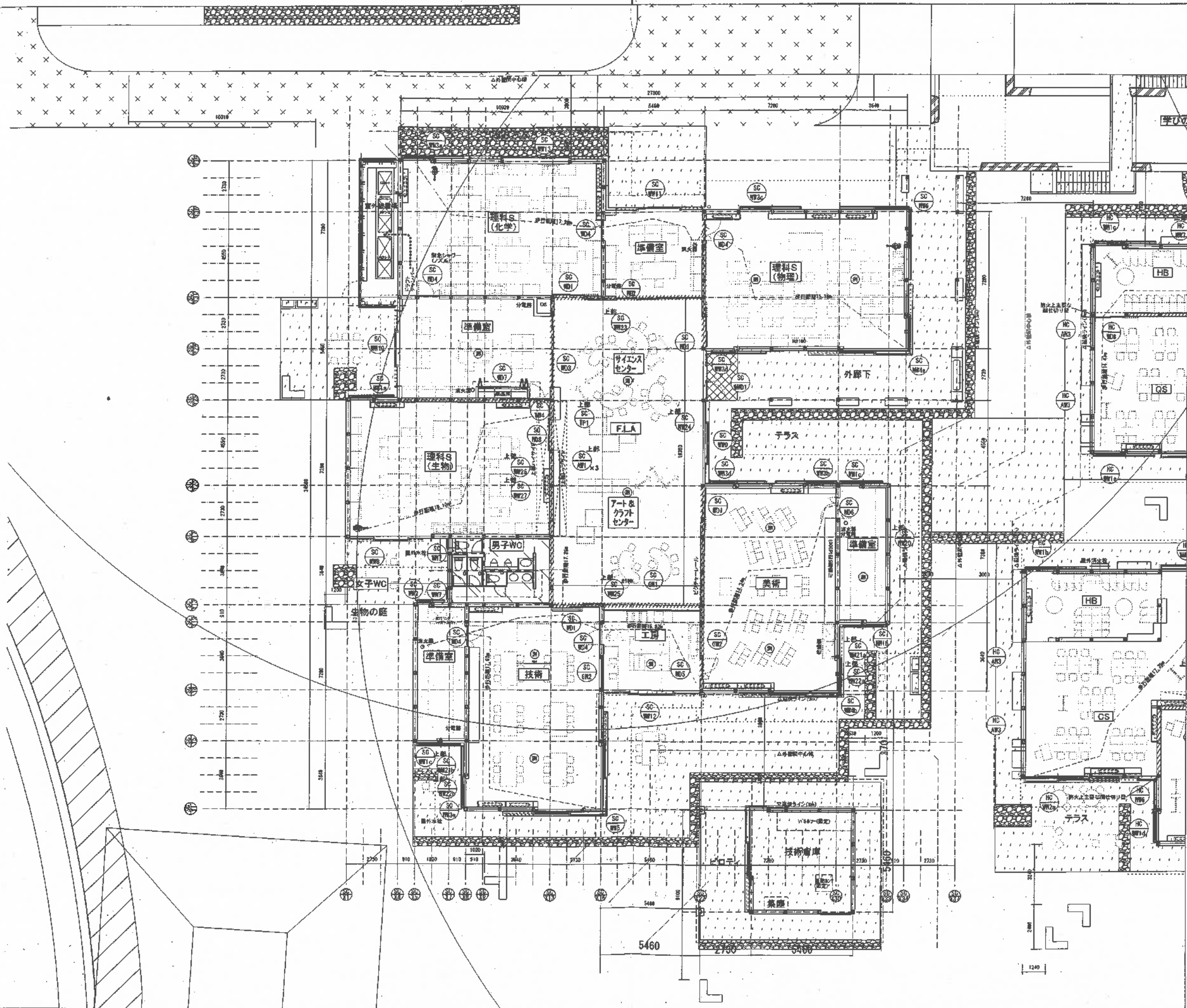
工事名
 広島県立広島観智学園中学校・高等学校
 新築工事 (2期工事)

図面内容・縮尺
 平面図-教室棟2・図書メディア棟
 1/100 (A1)
 1/200 (A3)

設計
 平成29年
 図面番号
 A-08-01



広島県土木建築局営繕課		設計者・設計事務所名 C・A・土井建築設計共同 代表企業 鶴 シーラクス アンド アソシエイツ 愛知県名古屋市中区大須5-13 H&C-BLDG 1 6F 一般建築士事務所 愛知県知事登録(イ-25)第152号 一般建築士 第24000号 宇野 孝 印		工事名 広島県立広島教育学園中学校・高等学校 新築工事(2期工事)		図面内容・縮尺 平面図・図書メディア棟2階 1/50(A1) 1/100(A3)		設計 平成29年		図面番号 A-12-04	
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫



凡例 ①②③ 防火上主要な箇什切り壁
 ④: 化学物質の漏洩判定対象處
 F.L.A: フレキシブルレーニングエリア (共用部)

建築保全業務共通仕様書

令和 5 年版

令和 5 年 3 月 30 日 国営保第 27 号
改定 令和 5 年 8 月 8 日 国営保第 9 号
改定 令和 5 年 11 月 8 日 国営保第 13 号

この共通仕様書は、各省各庁の施設管理者が官庁施設の保全を実施するための基準として制定したものです。

利用にあたっては、国土交通省のホームページのリンク・著作権・免責事項に関する利用ルール (<http://www.mlit.go.jp/link.html>) をご確認ください。

国土交通省大臣官房官庁営繕部

第1章 総則

第1節 一般事項

1.1.1 適用

- (a) 建築保全業務共通仕様書（以下「共通仕様書」という。）は、建築物及びその附帯施設（以下「建築物等」という。）の定期点検、臨時点検、日常点検、保守、運転・監視、清掃、執務環境測定等及び警備に関する業務委託に適用する。
- (b) 共通仕様書に規定する事項は、別の定めがある場合を除き、受注者の責任において履行すべきものとする。
- (c) 共通仕様書の第2編以降の各編は、第1編と併せて適用する。
- (d) 共通仕様書の第2編以降の各編において、一般事項が第1章に規定されている場合は第2章以降の規定と併せて適用する。
- (e) 建築保全業務に係る契約図書は以下によるものとし、相互に補完するものとする。ただし、契約図書間に相違がある場合の優先順位は、次の(1)から(5)までの順番とし、これにより難しい場合は、1.1.4「疑義に対する協議等」による。
 - (1) 契約書（頭書及び条項をいう）
 - (2) 質問回答書（(3)から(5)までに対するもの）
 - (3) 現場説明書
 - (4) 特記仕様書（図面、機器リストを含む）
 - (5) 共通仕様書
- (f) 本編の規定は、第2編から第6編までに別に定めのある場合には適用しない。

1.1.2 用語の定義

共通仕様書において用いる用語の定義は、次によるほか、各編の用語の定義による。

- (1) 「建築物」とは、建築基準法（昭和25年法律第201号）第2条第1号で規定する建築物をいう。
- (2) 「施設管理担当者」とは、契約図書に規定する施設管理担当者をいい、建築物等の管理に携わる者で、保全業務の監督を行うことを発注者が指定した者をいう。
- (3) 「受注者等」とは、当該業務契約の受注者又は契約書の規定により定めた受注者側の業務責任者をいう。
- (4) 「業務責任者」とは、契約図書に規定する業務責任者をいい、業務を総合的に把握し、業務を円滑に実施するために施設管理担当者との連絡調整を行う者で、現場における受注者側の責任者をいう。
- (5) 「業務担当者」とは、業務責任者の指揮により業務を実施する者で、現場における受注者側の担当者をいう。
- (6) 「業務関係者」とは、業務責任者及び業務担当者を総称していう。
- (7) 「施設管理担当者の承諾」とは、受注者等が施設管理担当者に対し書面で申し出た事項

- について、施設管理担当者が書面をもって了解することをいう。
- (8)「施設管理担当者の指示」とは、施設管理担当者が受注者等に対し、業務の実施上必要な事項を、書面によって示すことをいう。
- (9)「施設管理担当者との協議」とは、協議事項について、施設管理担当者と受注者等とが結論を得るために合議し、その結果を書面に残すことをいう。
- (10)「施設管理担当者の検査」とは、業務の各段階で、受注者等が実施した結果等について提出した資料に基づき、施設管理担当者が契約図書との適否を確認することをいう。
- (11)「施設管理担当者の立会い」とは、業務の実施上必要な指示、承諾、協議及び検査を行うため、施設管理担当者がその場に臨むことをいう。
- (12)「施設管理担当者への報告」とは、受注者等が施設管理担当者に対し、業務の状況又は結果について書面をもって知らせることをいう。
- (13)「施設管理担当者への提出」とは、受注者等が施設管理担当者に対し、業務に関わる書面その他の資料を説明し、差し出すことをいう。
- (14)「特記」とは、1.1.1「適用」の(e)の(2)から(4)までに指定された事項をいう。
- (15)「書面」とは、発行年月日及び氏名が記載された文書をいう。
- (16)「業務検査」とは、契約書に規定するすべての業務の完了の確認又は毎月の支払の請求に係る業務の終了の確認をするために、発注者が指定した者が行う検査をいう。
- (17)「作業」とは、共通仕様書で定める建築物等の定期点検、臨時点検、日常点検、保守、運転・監視、清掃、執務環境測定等及び警備に当たる作業をいう。
- (18)「必要に応じて」とは、これに続く事項について、受注者等が作業の実施を判断すべき場合においては、あらかじめ施設管理担当者の承諾を受けて対処すべきことをいう。
- (19)「原則として」とは、これに続く事項について、受注者等が遵守すべきことをいうが、あらかじめ施設管理担当者の承諾を受けた場合は、他の手段によることができることをいう。
- (20)「点検」とは、建築物等の部分について、損傷、変形、腐食、異臭その他の異常の有無を調査することをいい、保守又はその他の措置が必要か否かの判断を行うことをいう。
- (21)「定期点検」とは、当該点検を実施するために必要な資格又は特別な専門的知識を有する者が定期的に行う点検をいい、性能点検、月例点検、シーズンイン点検、シーズンオン点検及びシーズンオフ点検を含めていう。
- (22)「臨時点検」とは、当該点検を実施するために必要な資格又は特別な専門的知識を有する者が、台風、暴風雨、地震等の災害発生直後及び不具合発生時等に臨時に行う点検をいう。
- (23)「日常点検」とは、目視、聴音、触接等の簡易な方法により、巡回しながら日常的に行う点検をいう。
- (24)「法定点検」とは建築物の保全の関係法令に基づき実施することが規定されている点検をいう。

- (25) 各編、表中備考欄の「12 条点検」とは、建築基準法第 12 条第 2 項及び第 4 項で定める点検又は官公庁施設の建設等に関する法律（昭和 26 年法律第 181 号。以下「官公法」という。）第 12 条第 1 項及び第 2 項で定める点検により、建築物等の損傷、腐食、劣化等の状況を点検することをいう。
- (26) 「保守」とは、点検の結果に基づき建築物等の機能の回復又は危険の防止のために行う消耗部品の取替え、注油、塗装その他これらに類する軽微な作業をいう。
- (27) 「運転・監視」とは、施設運営条件に基づき、建築設備を稼動させ、その状況を監視し、制御することをいう。
- (28) 「清掃」とは、汚れを除去すること及び汚れを予防することにより仕上げ材を保護し、良好な環境を保つための作業をいう。
- (29) 「執務環境測定等」とは、空気環境測定、照度測定、吹付け石綿等の点検、並びにねずみ等の調査及び防除に関する業務をいう。
- (30) 「警備」とは、施設内における盗難等の事故の発生を警戒し、防止する業務をいう。

1.1.3 受注者の負担の範囲

- (a) 業務の実施に必要な施設の電気、ガス、水道等の使用に係る費用は、特記がある場合に限り受注者の負担とする。
- (b) 点検に必要な工具、計測機器等の機材は、設備機器に附属して設置されているものを除き、受注者の負担とする。
- (c) 保守に必要な消耗部品、材料、油脂等は、受注者の負担とする。ただし、各編に定める支給材料を除く。
- (d) 清掃に必要な資機材は、受注者の負担とする。ただし、第 4 編「清掃」で支給品とされた衛生消耗品を除く。

1.1.4 疑義に対する協議等

- (a) 契約図書に定められた内容に疑義が生じた場合は、施設管理担当者と協議する。
- (b) (a) の協議を行った結果、契約図書の訂正又は変更を行う場合の措置は契約書の規定による。
- (c) (a) の協議を行った結果、契約図書の訂正又は変更に至らない事項は、1.2.4「業務の記録」(a) の規定による。

1.1.5 書面の書式及び取扱い

- (a) 書面を提出する場合の書式は、別に定めがある場合を除き、施設管理担当者との協議による。
- (b) 共通仕様書において書面により行わなければならないとされている承諾、指示、協議、報告及び提出については、電子メール等の情報通信の技術を利用する方法を用いて行うこ

とができる。

1.1.6 関係法令等の遵守

業務の実施に当たり、適用を受ける関係法令等を遵守し、業務の円滑な遂行を図る。

1.1.7 非常時の対応

- (a) 地震、暴風、豪雨その他の自然災害に備え、あらかじめ施設管理担当者と協議し、非常時の指揮命令系統、連絡体制及び対応方法を定めておく。
- (b) 業務関係者が建築物等に常駐して行う業務において、被害を及ぼす可能性のある暴風、豪雨等に関する気象予報が発令された場合は、建築物等を巡回し、被害の未然防止のための必要な措置を講ずる。
- (c) 災害が発生した場合は、人命の安全確保を優先する。また、受注している業務の継続が困難となった場合は、速やかに施設管理担当者に報告する。
- (d) 施設管理担当者との協議により、保全業務について応急的な支援を行う。
- (e) 当該支援にかかる費用は、施設管理担当者との協議による。

第2節 業務関係図書

1.2.1 業務計画書

- (a) 業務責任者は、適切な業務の実施に先立ち、実施体制（非常時の対応を含む）、全体工程、業務担当者が有する資格等、必要な事項を総合的にまとめた業務計画書を作成し、施設管理担当者の承諾を受ける。ただし、あらかじめ施設管理担当者の承諾を受けた場合はこの限りでない。
- (b) 業務関係者が施設に常駐して行う業務においては、受注者は業務関係者の労務管理について適切に行うよう計画する。

1.2.2 作業計画書

業務責任者は、業務計画書に基づき作業別に、実施日時、作業内容、作業手順、作業範囲、業務責任者、業務担当者、安全管理の内容等を具体的に定めた作業計画書を作成して、作業開始前に施設管理担当者の承諾を受ける。

1.2.3 貸与資料

貸与資料は、特記による。

なお、点検対象の設備機器等に備え付けの図面、取扱説明書等は使用することができる。ただし、作業終了後は、原状に復するものとする。

1.2.4 業務の記録

- (a) 施設管理担当者と協議した結果について、記録を整備する。
- (b) 業務の全般的な経過を記載した書面を作成する。ただし、同一業務内容を連続して行う場合は、施設管理担当者と協議の上、省略することができる。
- (c) 一業務が終了した場合には、その内容を記載した書面を作成する。
- (d) (a)から(c)までの記録について、施設管理担当者より請求された場合は、提出又は提示する。

第3節 業務現場管理

1.3.1 業務管理

契約図書に適合する業務を完了させるために、業務管理体制を確立し、品質、工程、安全等の業務管理を行う。

1.3.2 業務責任者

- (a) 受注者は、業務責任者を定め施設管理担当者に届け出る。また、業務責任者を変更した場合も同様とする。
- (b) 業務責任者は、業務担当者に業務目的、作業内容及び施設管理担当者の指示事項等を伝え、その周知徹底を図る。
- (c) 業務責任者は、業務担当者以上の経験、知識及び技能を有する者とする。
なお、業務責任者は業務担当者を兼ねることができる。

1.3.3 業務条件

- (a) 業務を行う日及び時間は、特記による。
- (b) やむを得ない事情により契約図書に定められた業務を行う日及び時間を変更する必要がある場合には、あらかじめ施設管理担当者の承諾を受ける。

1.3.4 電気工作物の保安業務

- (a) 電気事業法（昭和39年法律第170号）による事業用（自家用）電気工作物の維持及び運用の保安に関する事項に係る業務は、特記による。
- (b) (a)の実施に当たり、受注者等は同法令に従い、電気工作物の保安体制を確立する。
- (c) (a)に係る業務を実施する場合には、発注者が定める事業用（自家用）電気工作物保安規程（以下「保安規程」という。）に従うものとし、電気主任技術者の監督下において、保安の確保に努める。

1.3.5 環境衛生管理体制

- (a) 建築物における衛生的環境の確保に関する法律（昭和45年法律第20号。以下「建築物

衛生法」という。)による建築物環境衛生管理技術者の適用は、特記による。

- (b) 建築物環境衛生管理技術者は、関係法令に従い環境衛生の維持管理に関する監督を行い、衛生的環境の確保に努める。
- (c) 別契約業務等で建築物環境衛生管理技術者が定められている場合は、その監督下において、衛生的環境の確保に努める。

1.3.6 業務の安全衛生管理

- (a) 業務担当者の労働安全衛生に関する労務管理については、業務責任者がその責任者となり、関係法令に従って行う。
- (b) 業務の実施に際し、石綿又はPCBの使用を確認した場合は、施設管理担当者に報告する。

1.3.7 火気の手扱い

作業に当たり、原則として火気は使用しない。ただし、やむを得ず火気を使用する場合は、あらかじめ施設管理担当者の承諾を受けるものとし、その取扱いに十分注意する。

1.3.8 出入り禁止箇所

業務に関係のない場所及び室への出入りは禁止する。

第4節 業務の実施

1.4.1 業務担当者

- (a) 業務担当者は、その作業等の内容に応じ、必要な知識及び技能を有するものとする。
- (b) 関係法令により作業等を行う者の資格が定められている場合は、当該資格を有する者が当該作業等を行う。

1.4.2 代替要員

業務内容により代替要員を必要とする場合には、あらかじめ施設管理担当者に報告し、承諾を受けるものとする。

1.4.3 服装等

- (a) 業務関係者は、業務及び作業に適した服装並びに履物で業務を実施する。ただし、警備については、第6編「警備」による。
- (b) 業務関係者は、名札又は腕章を着けて業務を行う。

1.4.4 別契約の業務等

- (a) 業務に密接に関連する別契約の業務の有無は、特記による。

- (b) 業務責任者は、施設管理担当者の監督下において、別契約の業務の業務責任者との調整を図り、円滑に業務を実施する。

1.4.5 行事等への立会い

業務実施施設において開催される、防災訓練等の行事等への立会いの可否は、特記による。

1.4.6 施設管理担当者の立会い

作業等に際して施設管理担当者の立会いを求める場合は、あらかじめ申し出る。

1.4.7 業務の報告等

業務の報告は、業務責任者が作業等の結果を記載した業務報告書を作成し、あらかじめ施設管理担当者と協議して定めた日に施設管理担当者に提出することにより行う。

- (a) 点検、定期点検、臨時点検又は日常点検においては、あらかじめ施設管理担当者と打合せの上、定められた様式により報告する。
- (b) 施設管理担当者が施設等の維持管理又は建物の維持保全計画若しくは長期修繕計画の作成又は見直しを行う場合に助言を求めた際、受注者の立場から適切な技術的助言を行う。
- (c) 施設等に事故や重大な不具合が発生した場合において、迅速かつ有効な再発防止対策につなげるという公益性の観点から施設管理担当者の求めに応じて報告書の作成助言等、必要な協力を行う。

1.4.8 環境への配慮

国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成 12 年法律第 100 号）に基づく特定調達品目の適用は、特記による。

第 5 節 業務に伴う廃棄物の処理等

1.5.1 廃棄物の処理等

- (a) 業務の実施（修繕や部品交換など）に伴い発生した廃棄物の処理は、原則として受注者の負担により行う。ただし、新たな支給材料との交換に伴い不要となったもの、第 2 編 4.5.6「汚水槽・雑排水槽の清掃」（c）の汚泥等、第 4 編 2.3.1「ごみ運搬処理」で発生するごみ、吸殻等の廃棄物は除く。
- (b) 発生材の保管場所及び集積場所は、特記による。

1.5.2 産業廃棄物等

- (a) 産業廃棄物等の処理は、関係法令に従い適切に行うものとする。

なお、上記 1.5.1(a)のただし書きの廃棄物のうち産業廃棄物となるものについては、施設管理担当者の求めに応じて、発注者が行うマニフェストの交付又はマニフェストの電

子情報の登録等、必要な協力を行う。

- (b) 特別管理産業廃棄物は、人の健康や生活環境に被害を生じるおそれが多いため、その取扱いや処理方法等を定めた関係法令を遵守して、適切に対応する。

第6節 業務の検査

1.6.1 業務の検査

受注者は、契約書に基づき、その支払いに係る請求を行うときは次の書類を用意し、発注者の指定した者が行う業務の検査を受けるものとする。

- (1) 契約図書
- (2) 業務計画書、作業計画書、業務報告書
- (3) 出勤・退勤確認簿（施設警備業務の場合）
- (4) 業務仕様に係る改善提案書

第4編 清掃

第1章 一般事項

第1節 一般事項

1.1.1 適用

本編は、第1編と併せ、建築物等の清掃に関する業務に適用する。

1.1.2 用語の定義

本編において用いる用語の定義は、次のとおりとする。

- (1) 「日常清掃」とは、1日単位の短い周期で日常的に行う清掃をいう。
- (2) 「定期清掃」とは、週、月又は年単位の周期で定期的に行う清掃をいう。
- (3) 「日常巡回清掃」とは、1日1回の日常清掃後、巡回しながら部分的な汚れの除去、ごみ収集等を行う作業をいう。
- (4) 「弾性床」とは、ビニル床タイル、ビニル床シート、ゴム床タイル、コルク床タイル等の床をいう。
- (5) 「硬質床」とは、陶磁器質タイル、石、コンクリート、モルタル、レンガ等の床をいう。
- (6) 「繊維床」とは、カーペットの床をいう。
- (7) 「木製床」とは、ウレタン樹脂ワニス塗りのフローリングをいう。
- (8) 「衛生消耗品」とは、トイレトペーパー、水石鹸等をいう。
- (9) 「適正洗剤」とは、清掃部分の材質を傷めずに汚れを除去できるもので、作業員の人体及び環境に配慮したものをいう。

1.1.3 業務の条件

業務を行わない日は、特記による。

1.1.4 清掃業務の範囲

- (a) 清掃の対象となる部分は、特記による。
- (b) 家具、什器等（椅子等の容易に移動可能なものを除く）の移動は、原則として別途とする。
- (c) 次に示す部分の清掃は、省略できるものとする。
 - (1) 家具、什器等（椅子等の容易に移動可能なものを除く）があり清掃不可能な部分。
 - (2) 電気が通電されている部分又は運転中の機器が近くにある等、清掃が極めて危険な部分。
 - (3) 執務中の清掃場所又は部位で、あらかじめ施設管理担当者に指示を受けた場合。

- (d) 清掃に使用する脚立等は受注者の負担とする。ただし、高所作業に必要な足場等（作業床高さ 2 m 以上）は、特記による。
- (e) 衛生消耗品は、不足にならない様に適宜交換する。
- (f) 感染防止対策に関わる清掃作業は、特記による。

1.1.5 支給品

衛生消耗品は特記がある場合を除き、発注者の負担とする。

1.1.6 業務時間

- (a) 日常清掃及び日常巡回清掃を行う時間は、特記による。
- (b) 定期清掃を行う日及び時間は、特記による。

1.1.7 周期の表記

清掃の周期の表記は、次による。

- (1) 「1 D」は、1 日ごとに行うものとする。
- (2) 「2 / M」は、1 月に 2 回行うものとする。
- (3) 「1 M」は、1 月ごとに行うものとする。
- (4) 「2 M」は、2 月ごとに行うものとする。
- (5) 「6 M」は、6 月ごとに行うものとする。
- (6) 「1 Y」は、1 年ごとに行うものとする。
- (7) 「3 Y」は、3 年ごとに行うものとする。
- (8) 「特記」は、特記による。

1.1.8 臨時の措置

地震による破損ガラスの片づけ、落葉の掃除等、臨時に新たな清掃が必要になった場合には、その旨を施設管理担当者に報告し、対応について協議する。

1.1.9 清掃業務の報告及び確認

- (a) 清掃業務終了後に、指定された書類（日常・定期作業実施報告書等）をもって、施設管理担当者へ報告する。
- (b) 職員の依頼を受けてやむを得ず 1.1.4 の（c）以外に清掃を省略した部位又は場所は、その旨を報告書に記述する。
- (c) 施設管理担当者より業務の実施状況についての確認の求めがあった場合には、これに立ち会う。

1.1.10 自主点検

清掃業務の作業成果の状況、資材の使用状況、建築物の保全状況、組織品質及び現場組織管理体制について、3月以内ごとに1回を標準として、業務責任者及び業務担当者以外の者による自主点検を実施し、点検結果を施設管理担当者へ報告する。

1.1.11 使用資機材の報告

清掃に使用する資機材は、あらかじめ施設管理担当者の承諾を受ける。

1.1.12 資機材等の保管

- (a) 日常清掃に使用する資機材及び衛生消耗品は、施設管理担当者より指示された場所に、整理して保管する。
- (b) 定期清掃のみを行う場合において、当該業務に使用した資機材は、作業完了後持ち帰る。

1.1.13 注意事項

- (a) 使用する資機材は、品質良好なものを使用するものとし、また、受注者の責任において使用場所に最適なものを的確に選択し、使用する。
- (b) 貸与された使用機材は、作業に適したものであることを施設管理担当者と業務責任者で確認する。
- (c) 使用する資機材、洗剤等は環境汚染の少ないものを優先するのが望ましい。
- (d) 清掃作業によって生じた廃液等の処理については、関係法令に従い適切に行う。

第2章 建物内部の清掃

第1節 床の清掃

2.1.1 弾性床

弾性床の作業項目及び作業内容は、表 2.1.1 による。

表 2.1.1 弾性床

作業項目	作業内容	備考
1. 除塵		
a. 自在ぼうき又はフロアダスターによる除塵	隅は自在ぼうき、広い場所はフロアダスター又は自在ぼうきで掃き、集めたごみは所定の場所に搬出する。	
b. 真空掃除機を併用する除塵	隅は真空掃除機で、広い場所はフロアダスター又は自在ぼうきで掃き、集めたごみは所定の場所まで搬出する。	
2. 水拭き		
a. 部分水拭き	汚れが目立つ部分は、モップで水拭きをする。	
b. 全面水拭き	床全面をモップで水拭きをする。	
3. 補修		
a. 空バフイング	汚れが目立つ床面は、パッド（赤又は白）を装着した床磨き機で空バフイングし、汚れを除去する。	
b. スプレーバフイング（スプレークリーニング）	① 汚れた部分は、水又は専用補修液をスプレーし、パッド（赤又は白）を装着した床磨き機で乾燥するまで研磨する。 なお、汚れが目立つ場合は、適正に希釈した表面洗浄用洗剤を用いる。 ② 削り取られたかすを取り除き、スプレーバフイングを行った箇所を水拭きした後、樹脂床維持剤を塗布して補修する。	
4. 洗 浄		
a. 表面洗浄	① 椅子等軽微な什器の移動を行い、作業終了後、元の位置に戻す。 なお、洗浄水の侵入のおそれのあるコンセント等は、適正な養生を行う。 ② 床面の除塵を行う。除塵作業は、1.「除塵」により行う。 ③ 床面に適正に希釈した表面洗浄用洗剤をむらのないように塗布する。 ④ 洗浄用パッド（赤）を装着した床磨き機で、皮膜表面の汚れを洗浄する。 ⑤ 吸水用真空掃除機又は床用スクイジーで汚水を除去する。 ⑥ 2 回以上水拭きを行い、汚水や洗剤分を除去した後、十分に乾燥させる。水拭き作業は2.「水拭き」bにより行う。 ⑦ 樹脂床維持剤を、塗り残しや塗りむらのないように格子塗りし、十分に乾燥する。 ⑧ 樹脂床維持剤の塗布回数は、原則として1回（格子塗り）とする。	

b. 剥離洗浄	<p>① 椅子等軽微な什器の移動を行い、作業終了後、元の位置に戻す。 なお、洗浄水の侵入のおそれのあるコンセント等は、適正な養生を行う。</p> <p>② 床面の除塵を行う。除塵作業は、1.「除塵」により行う。</p> <p>③ 床面に適正に希釈した樹脂床維持剤の剥離剤をむらのないように塗布する。</p> <p>④ 剥離用パッド(黒又は茶)を装着した床磨き機で洗浄する。</p> <p>⑤ 吸水用真空掃除機又は床用スクイジーで汚水を除去する。</p> <p>⑥ 剥離状況を点検し、不十分な箇所がある場合は、再度剥離作業を行う。</p> <p>⑦ 床材表面を中和するため、床磨き機で水洗いを行う。</p> <p>⑧ 吸水用真空掃除機又は床用スクイジーで汚水を除去する。</p> <p>⑨ 3回以上水拭きを行って、汚水や剥離剤を除去した後、十分に乾燥させる。水拭き作業は、2.「水拭き」bにより行う。</p> <p>⑩ 樹脂床維持剤をモップで、塗り残しや塗りむらのないように格子塗りし、十分に乾燥した後塗り重ねる。</p> <p>⑪ 樹脂床維持剤の塗布回数は特記による。特記がない場合は、3回(格子塗り)とする。</p>	
---------	---	--

2.1.2 硬質床

硬質床の作業項目及び作業内容は、表 2.1.2 による。

表 2.1.2 硬質床

作業項目	作業内容	備考
1. 除塵		
a. 自在ぼうき又はフロアダスターによる除塵	表2.1.1の1.「除塵」aによる。	
b. 真空掃除機を併用する除塵	表2.1.1の1.「除塵」bによる。	
2. 水拭き		
a. 部分水拭き	表2.1.1の2.「水拭き」aによる。	
b. 全面水拭き	表2.1.1の2.「水拭き」bによる。	
3. 補修	表2.1.1の3.「補修」による。	
4. 洗浄		
a. 表面洗浄 (床保護剤が塗布されている場合)	表2.1.1の4.「洗浄」aによる。	
b. 剥離洗浄 (床保護剤が塗布されている場合)	表2.1.1の4.「洗浄」bによる。	

c. 一般床洗浄 (床保護剤が塗布されていない場合)	① 椅子等軽微な什器の移動を行い、作業終了後、元の位置に戻す。 ② 床面の除塵を行う。除塵作業は、1.「除塵」による。 ③ 床面に適正に希釈した表面洗浄用洗剤をむらのないよう塗布する。 ④ 洗浄用パッド又は洗浄用ブラシを装着した床磨き機で汚れを洗浄する。 ⑤ 吸水用真空掃除機又は床用スクイジーで汚水を除去する。 ⑥ 2回以上水拭きを行って、汚水や洗剤分を完全に除去した後、十分に乾燥させる。水拭き作業は、2.「水拭き」bにより行う。
-------------------------------	--

2.1.3 繊維床

繊維床の作業項目及び作業内容は、表 2.1.3 による。

表 2.1.3 繊維床

作業項目	作業内容	備考
1. 除塵		
a. 真空掃除機による除塵	真空掃除機で吸塵する。	・容易に除去できるしみ取り含む。
b. カーペットスリーパーによる除塵	床表面の粗ごみをカーペットスリーパーで回収して除塵する。	
2. しみ取り	しみの性質と繊維素材に適したしみ取り剤(水溶性又は油性)を用いて、しみを取る。 なお、方法は特記による。	
3. 補修 (スポットクリーニング)	スポットクリーニングにより行う。 なお、方法は特記による。	
4. 洗浄 (全面クリーニング)	カーペット床全面を洗浄し、丁寧に汚れを除去する。 なお、方法は特記による。	

2.1.4 木製床

木製床の作業項目及び作業内容は、表 2.1.4 による。ただし、体育館用木製床の作業項目及び作業内容は、特記による。

表 2.1.4 木製床

作業項目	作業内容	備考
1. 除塵		
a. 自在ぼうき又はフロアダスターによる除塵	表2.1.1の1.「除塵」 aによる。	
b. 真空掃除機を併用する除塵	表2.1.1の1.「除塵」 bによる。	

2. 拭き 部分拭き	ひどい汚れには、カラ拭きでゴミやホコリを取り除いた後、固く絞ったモップ又は中性洗剤をふくませた後、絞ったモップで汚れを拭き取る。ただし、濡れたモップを頻繁に使用すると、塗膜の剥がれ、ササクレ等の不具合を生じることがあるので注意する。	
3. 補 修 スプレーバフィング（スプレークリーニング）	① 汚れた部分は、木製床専用の補修液をスプレーし、パッド(白)を装着した床磨き機で乾燥するまで研磨する。 なお、汚れが目立つ場合は、適正に希釈した木製床専用の表面洗浄用洗剤を用いる。 ② 削り取られたかすを取り除き、スプレーバフィングを行った箇所を固く絞ったモップで拭きした後、必要に応じて床保護剤を塗り直す。	
4. 洗 浄 表面洗浄（床保護剤が塗布されている場合）	① 椅子等軽微な什器の移動を行い、作業終了後、元の位置に戻す。なお、洗浄水の侵入のおそれのあるコンセント等は、適正な養生を行う。 ② 床面の除塵を行う。除塵作業は、1.「除塵」により行う。 ③ 床面に適正に希釈した木製床専用の表面洗浄用洗剤をスプレー等で床面に噴霧する。 ④ 洗浄用パッド(白)、綿製パット等で、皮膜表面の汚れを洗浄する。 ⑤ 固く絞ったモップで拭きを行い、汚水や洗剤分を除去した後、十分に乾燥させる。 ⑥ 床保護剤を、塗に残しや塗りむらのないように格子塗りし、十分に乾燥する。 ⑦ 床保護剤の塗布回数は、原則として1回（格子塗り）とする。	・床保護剤は木質系樹脂ワックス

第2節 場所別の清掃

2.2.1 玄関ホール

(a) 玄関ホール（日常清掃及び日常巡回清掃）の作業項目及び作業内容は、表 2.2.1(A)による。

(b) 玄関ホール（定期清掃）の作業項目及び作業内容は、表 2.2.1(B)による。

表 2.2.1(A) 玄関ホール（日常清掃及び日常巡回清掃）

作業項目		作業内容	周期	備考
1. 床の清掃				
a. 弾性床	除塵	表2.1.1の1.「除塵」aによる。	1 D	
	水拭き	表2.1.1の2.「水拭き」aによる。	1 D	
b. 硬質床	除塵	表2.1.2の1.「除塵」aによる。	1 D	
	水拭き	表2.1.2の2.「水拭き」aによる。	1 D	
c. 木製床	除塵	表2.1.4の1.「除塵」aによる。	1 D	
	拭き	表2.1.4の2.「拭き」による。	1 D	
2. 床以外の清掃				

a. フロアマット	除塵	真空掃除機で吸塵する。	1 D	
b. 扉ガラス	部分拭き	汚れが目立つ部分は、タオルで水拭き又は乾拭きする。	1 D	
c. 什器備品	除塵	タオル、ダストクロス等でほこりを取る。	1 D	
d. ごみ箱	ごみ収集	ごみを収集し、容器の外面で汚れた部分は、タオルで水拭き及び乾拭きをする。	1 D	
e. 金属部分	除塵	タオル、ダストクロス等でほこりを取る。	1 D	
3. 日常巡回清掃				
a. 床 (弾性床及び硬質床)	部分水拭き	汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。	1 D	
b. ごみ箱	ごみ収集	ごみを収集する。	1 D	
c. フロアマット	除塵	真空掃除機で吸塵する。	1 D	

表 2. 2. 1 (B) 玄関ホール（定期清掃）

作業項目		作業内容	周期	備考
1. 床の清掃				
a. 弾性床	洗浄	① 表2. 1. 1の4. 「洗浄」 aによる。	1 M	
		② 表2. 1. 1の4. 「洗浄」 bによる。	3 Y	
b. 硬質床	洗浄	① 表2. 1. 2の4. 「洗浄」 a又はcによる。	1 M	
		② 表2. 1. 2の4. 「洗浄」 bによる。	特記	
c. 木製床	洗浄	表2. 1. 4の4. 「洗浄」 による。	1 M	
2. 床以外の清掃				
a. 壁	除塵 部分拭き	鳥毛はたき、静電気除塵具等で除塵する。 汚れた部分は、水又は適正洗剤を用いて拭く。	1 M 2 / M	
b. フロアマット	洗浄	適正洗剤や水を用いて洗浄し、土砂や汚れを取り除く。 なお、適正洗剤を用いる場合は清水で洗剤分を除去した後、十分に乾燥させる。	1 M	
c. 扉ガラス	全面洗浄	ガラス両面に水又は適正洗剤を塗布し、窓用スクイジーで汚れを除去する。	1 M	
d. 窓ガラス	洗浄	次の作業を行う。 ・ガラス面に水又は中性洗剤を適正希釈したものを塗布し、汚れを分解して窓用スクイジーで汚水を除去する。 ・ガラス面の隅の汚水をタオルで拭き取る。 ・ガラス回りのサッシをタオルで清拭する。ただし、サッシの溝やサッシ全体の清拭は含まない。	2 M	
e. 什器備品	拭き	タオルで水拭きする。汚れは、適正洗剤を用いて除去する。	1 M	

f. 照明器具 (蛍光灯)	拭き	次の作業を行う。 ・洗剤(中性又は弱アルカリ性)を用いて管球、反射板、カバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は洗剤で拭き取り、タオルで乾拭きする。	1 Y
f. 照明器具 (LED灯)	拭き	次の作業を行う。 ・管球(ライトバー)を取り外し、本体を乾拭きする。 ・器具側については、電極部分は乾拭きを実施し、その他の部分は洗剤(中性又は弱アルカリ性)を用いて反射板、カバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は洗剤で拭き取り、タオルで乾拭きする。	3 Y
g. 吹出口・吸 込口	拭き	次の作業を行う。 ・吹出口及び吸込口下の床面を養生する。 ・吹出口、吸込口及びその周辺を除塵する。 ・吹出口、吸込口、風量調整器及びその周辺の汚れに適正洗剤を用いて除去し、水拭きして仕上げる。	1 Y

2.2.2 事務室

(a) 事務室(日常清掃)の作業項目及び作業内容は、表2.2.2(A)による。

(b) 事務室(定期清掃)の作業項目及び作業内容は、表2.2.2(B)による。

表2.2.2(A) 事務室(日常清掃)

作業項目		作業内容	周期	備考
1. 床の清掃				
a. 弾性床	除塵 水拭き	表2.1.1の1.「除塵」aによる。	1 D	
		表2.1.1の2.「水拭き」aによる。	1 D	
b. 繊維床	除塵	表2.1.3の1.「除塵」aによる。	1 D	
c. 木製床	除塵 拭き	表2.1.4の1.「除塵」aによる。	1 D	
		表2.1.4の2.「拭き」による。	1 D	
2. 床以外の清掃				
a. ごみ箱	ごみ収集	ごみを収集し、容器の外面で汚れた部分は、タオルで水拭き及び乾拭きをする。	1 D	

表2.2.2(B) 事務室(定期清掃)

作業項目		作業内容	周期	備考
1. 床の清掃				
a. 弾性床	洗淨	① 表2.1.1の4.「洗淨」aによる。	1 M	
		② 表2.1.1の4.「洗淨」bによる。	3 Y	
	補修	表2.1.1の3.「補修」による。	特記	
b. 繊維床	洗淨	表2.1.3の4.「洗淨」による。	1 Y	
c. 木製床	洗淨	表2.1.4の4.「洗淨」による。	1 M	
2. 床以外の清掃				

a. 窓ガラス (内部)	洗浄	次の作業を行う。 ・ガラス面に水又は中性洗剤を適正希釈したものを塗布し、汚れを分解して窓用スクイジーで汚水を除去する。 ・ガラス面の隅の汚水をタオルで拭き取る。 ・ガラス回りのサッシをタオルで清拭する。ただし、サッシの溝やサッシ全体の清拭は含まない。	2 M
b. 照明器具 (蛍光灯)	拭き	次の作業を行う。 ・洗剤(中性又は弱アルカリ性)を用いて管球、反射板、カバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は洗剤で拭き取り、タオルで乾拭きする。	1 Y
c. 照明器具 (LED灯)	拭き	次の作業を行う。 ・管球(カバー)を取り外し、本体を乾拭きする。 ・器具側については、電極部分は乾拭きを実施し、その他の部分は洗剤(中性又は弱アルカリ性)を用いて反射板、カバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は洗剤で拭き取り、タオルで乾拭きする。	3 Y
d. 吹出口・吸 込口	拭き	次の作業を行う。 ・吹出口及び吸込口下の床面を養生する。 ・吹出口、吸込口及びその周辺を除塵する。 ・吹出口、吸込口、風量調整器及びその周辺の汚れに適正洗剤を用いて除去し、水拭きして仕上げる。	1 Y
e. ブラインド	拭き	中性洗剤を用いて、スラッド等を拭く。	1 Y

2.2.3 会議室

(a) 会議室（日常清掃）の作業項目及び作業内容は、表 2.2.3(A)による。

(b) 会議室（定期清掃）の作業項目及び作業内容は、表 2.2.3(B)による。

表 2.2.3(A) 会議室（日常清掃）

作業項目		作業内容	周期	備考
1. 床の清掃				
a. 弾性床	除塵	表2.1.1の1.「除塵」aによる。	1 D	
	水拭き	表2.1.1の2.「水拭き」aによる。	1 D	
b. 繊維床	除塵	表2.1.3の1.「除塵」aによる。	1 D	
c. 木製床	除塵	表2.1.4の1.「除塵」aによる。	1 D	
	拭き	表2.1.4の2.「拭き」による。	1 D	
2. 床以外の清掃				
a. ごみ箱	ごみ収集	ごみを収集し、容器の外面で汚れた部分は、タオルで水拭き及び乾拭きをする。	1 D	
b. 什器備品	拭き	タオルで水拭きする。汚れは、適正洗剤を用いて除去する。	1 D	

c. 窓台	除塵	タオル、ダストクロス等でほこりを取る。 タオルで水拭き又は適正洗剤を用いて拭く。	1 D	
	拭き		1 D	

表 2.2.3(B) 会議室（定期清掃）

作業項目		作業内容	周期	備考
1. 床の清掃				
a. 弾性床	洗浄	① 表2.1.1の4.「洗浄」aによる。 ② 表2.1.1の4.「洗浄」bによる。	2 M 3 Y	
	補修	表2.1.1の3.「補修」による。	特記	
b. 繊維床	洗浄	表2.1.3の4.「洗浄」による。	1 Y	
c. 木製床	洗浄	表2.1.4の4.「洗浄」による。	1 M	
2. 床以外の清掃				
a. 窓ガラス（内部）	洗浄	次の作業を行う。 ・ガラス面に水又は中性洗剤を適正希釈したものを塗布し、汚れを分解して窓用スクイジーで汚水を除去する。 ・ガラス面の隅の汚水をタオルで拭き取る。 ・ガラス回りのサッシをタオルで清拭する。ただし、サッシの溝やサッシ全体の清拭は含まない。	2 M	
b. 照明器具（蛍光灯）	拭き	次の作業を行う。 ・洗剤（中性又は弱アルカリ性）を用いて管球、反射板、カバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は洗剤で拭き取り、タオルで乾拭きする。	1 Y	
c. 照明器具（LED灯）	拭き	次の作業を行う。 ・管球（ライトバー）を取り外し、本体を乾拭きする。 ・器具側については、電極部分は乾拭きを実施し、その他の部分は洗剤（中性又は弱アルカリ性）を用いて反射板、カバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は洗剤で拭き取り、タオルで乾拭きする。	3 Y	
d. 吹出口・吸込口	拭き	次の作業を行う。 ・吹出口及び吸込口下の床面を養生する。 ・吹出口、吸込口及びその周辺を除塵する。 ・吹出口、吸込口、風量調整器及びその周辺の汚れに適正洗剤を用いて除去し、水拭きして仕上げる。	1 Y	
e. ブラインド	拭き	中性洗剤を用いて、スラッド等を拭く。	1 Y	

2.2.4 廊下・エレベーターホール

(a) 廊下・エレベーターホール（日常清掃及び日常巡回清掃）の作業項目及び作業内容は、表 2.2.4(A) による。

(b) 廊下・エレベーターホール（定期清掃）の作業項目及び作業内容は、表 2.2.4(B) による。

表 2.2.4(A) 廊下・エレベーターホール（日常清掃及び日常巡回清掃）

作業項目		作業内容	周期	備考
1. 床の清掃				
a. 弾性床	除塵 水拭き	表2.1.1の1.「除塵」aによる。 表2.1.1の2.「水拭き」aによる。	1 D 1 D	
b. 硬質床	除塵 水拭き	表2.1.2の1.「除塵」aによる。 表2.1.2の2.「水拭き」aによる。	1 D 1 D	
c. 繊維床	除塵	表2.1.3の1.「除塵」aによる。	1 D	
d. 木製床	除塵 拭き	表2.1.4の1.「除塵」aによる。 表2.1.4の2.「拭き」による。	1 D 1 D	
2. 床以外の清掃				
a. ごみ箱	ごみ収集	ごみを収集し、容器の外面で汚れた部分は、タオルで水拭き及び乾拭きをする。	1 D	
b. 手すり	拭き	タオルで水拭き又は適正洗剤を用いて拭く。	1 D	
3. 日常巡回清掃				
a. 床	部分水拭き	汚れや水滴等が付着した部分をモップで拭く。	1 D	
イ. 弾性床及び硬質床				
ロ. 繊維床	除塵	汚れ等が付着した部分は、カーペットスライパーで回収して除塵する。	1 D	
b. ごみ箱	ごみ収集	ごみを収集する。	1 D	

表 2.2.4(B) 廊下・エレベーターホール（定期清掃）

作業項目		作業内容	周期	備考
1. 床の清掃				
a. 弾性床	洗浄	① 表2.1.1の4.「洗浄」aによる。 ② 表2.1.1の4.「洗浄」bによる。	1 M 3 Y	
b. 硬質床	洗浄	① 表2.1.2の4.「洗浄」a又はcによる。 ② 表2.1.2の4.「洗浄」bによる。	1 M 特記	
c. 繊維床	洗浄	表2.1.3の4.「洗浄」による。	1 Y	
d. 木製床	洗浄	表2.1.4の4.「洗浄」による。	1 M	
2. 床以外の清掃				
a. 壁	除塵 部分拭き	鳥毛はたき、静電気除塵具等で除塵する。 汚れた部分は、水又は適正洗剤を用いて拭く。	1 M 2 / M	
b. 窓ガラス	洗浄	次の作業を行う。 ・ガラス面に水又は中性洗剤を適正希釈したものを塗布し、汚れを分解して窓用スクイジーで汚水を除去する。 ・ガラス面の隅の汚水をタオルで拭き取る。 ・ガラス回りのサッシをタオルで清拭する。ただし、サッシの溝やサッシ全体の清拭は含まない。	2 M	

c. 照明器具 (蛍光灯)	拭き	次の作業を行う。 ・洗剤(中性又は弱アルカリ性)を用いて管球、反射板、カバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は洗剤で拭き取り、タオルで乾拭きする。	1 Y
d. 照明器具 (LED灯)	拭き	次の作業を行う。 ・管球(ライトバー)を取り外し、本体を乾拭きする。 ・器具側については、電極部分は乾拭きを実施し、その他の部分は洗剤(中性又は弱アルカリ性)を用いて反射板、カバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は洗剤で拭き取り、タオルで乾拭きする。	3 Y
e. 吹出口・吸込口	拭き	次の作業を行う。 ・吹出口及び吸込口下の床面を養生する。 ・吹出口、吸込口及びその周辺を除塵する。 ・吹出口、吸込口、風量調整器及びその周辺の汚れに適正洗剤を用いて除去し、水拭きして仕上げる。	1 Y

2.2.5 便所・洗面所

(a) 便所・洗面所(日常清掃及び日常巡回清掃)の作業項目及び作業内容は、表2.2.5(A)による。

(b) 便所・洗面所(定期清掃)の作業項目及び作業内容は、表2.2.5(B)による。

(c) 便所及び洗面所に用いる洗浄パット、タオル、モップ等の資機材は、他と区別して専用のものを用いる。

表2.2.5(A) 便所・洗面所(日常清掃及び日常巡回清掃)

作業項目		作業内容	周期	備考
1. 床の清掃				
a. 弾性床	除塵	表2.1.1の1.「除塵」aによる。	1 D	
	水拭き	表2.1.1の2.「水拭き」bによる。	1 D	
b. 硬質床	除塵	表2.1.2の1.「除塵」aによる。	1 D	
	水拭き	表2.1.2の2.「水拭き」bによる。	1 D	
2. 床以外の清掃				
a. ごみ箱	ごみ収集	ごみを収集し、容器の外面で汚れた部分は、タオルで水拭き及び乾拭きをする。	1 D	
b. 扉及び便所面台のへだて	部分拭き	汚れた部分は、水又は適正洗剤を用いて拭く。	1 D	
c. 洗面台・水栓	拭き	スポンジで適正洗剤を塗布して洗浄し、タオルで拭く。	1 D	
d. 鏡	拭き	適正洗剤を用いて拭き、乾拭きして仕上げる。	1 D	
e. 衛生器具	洗浄	適正洗剤を用いて洗浄し、拭く。	1 D	
f. 衛生消耗品	補充	トイレットペーパー、水石鹸等を補充する。	1 D	

g. 汚物容器	汚物収集	内容物を収集し、容器の外面で汚れた部分は、タオルで水拭き及び乾拭きをする。	1 D	
3. 日常巡回清掃				
a. 床 (弾性床及び硬質床)	部分水拭き	汚れ、水滴等が付着した部分は、モップで拭く。	1 D	
b. ごみ箱	ごみ収集	ごみを収集する。	1 D	
c. 洗面台	部分拭き	汚れた部分は、タオルを用いて拭く。	1 D	
d. 鏡	部分拭き	汚れた部分は、タオルを用いて拭く。	1 D	
e. 衛生器具	洗浄	汚れた部分は、適正洗剤で洗浄し、拭く。	1 D	
f. 衛生消耗品	補充	トイレットペーパー、水石鹼等を補充する。	1 D	
g. 汚物容器	汚物収集	内容物を収集する。	1 D	

表 2.2.5(B) 便所・洗面所（定期清掃）

作業項目		作業内容	周期	備考
1. 床の清掃				
a. 弾性床	洗浄	① 表2.1.1の4.「洗浄」aによる。	1 M	
		② 表2.1.1の4.「洗浄」bによる。	3 Y	
b. 硬質床	洗浄	① 表2.1.2の4.「洗浄」a又はcによる。	1 M	
		② 表2.1.2の4.「洗浄」bによる。	特記	
2. 床以外の清掃				
a. 壁	除塵 部分拭き	鳥毛はたき、静電気除塵具等で除塵する。 汚れた部分は、水又は適正洗剤を用いて拭く。	1 M 2 / M	
b. 窓ガラス (内部)	洗浄	次の作業を行う。 ・ガラス面に水又は中性洗剤を適正希釈したものを塗布し、汚れを分解して窓用スクイジーで汚水を除去する。 ・ガラス面の隅の汚水をタオルで拭き取る。 ・ガラス回りのサッシをタオルで清拭する。ただし、サッシの溝やサッシ全体の清拭は含まない。	2 M	
c. 照明器具 (蛍光灯)	拭き	次の作業を行う。 ・洗剤(中性又は弱アルカリ性)を用いて管球、反射板、カバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は洗剤で拭き取り、タオルで乾拭きする。	1 Y	
d. 照明器具 (LED灯)	拭き	次の作業を行う。 ・管球(ライトバー)を取り外し、本体を乾拭きする。 ・器具側については、電極部分は乾拭きを実施し、その他の部分は洗剤(中性又は弱アルカリ性)を用いて反射板、カバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は洗剤で拭き取り、タオルで乾拭きする。	3 Y	

e. 吹出口・吸込口	拭き	次の作業を行う。 ・吹出口及び吸込口下の床面を養生する。 ・吹出口、吸込口及びその周辺を除塵する。 ・吹出口、吸込口、風量調整器及びその周辺の汚れに適正洗剤を用いて除去し、水拭きして仕上げる。	1 Y
f. 換気扇	拭き	次の作業を行う。 ・換気扇下の床面を養生する。 ・換気扇及びその周辺を除塵する。 ・換気扇及びその周辺の汚れに中性洗剤を用いて除去し、水拭きして仕上げる。	1 Y

2.2.6 湯沸室

(a) 湯沸室（日常清掃及び日常巡回清掃）の作業項目及び作業内容は、表 2.2.6(A) による。

(b) 湯沸室（定期清掃）の作業項目及び作業内容は、表 2.2.6(B) による。

表 2.2.6(A) 湯沸室（日常清掃及び日常巡回清掃）

作業項目		作業内容	周期	備考
1. 床の清掃				
a. 弾性床	除塵 水拭き	表2.1.1の1.「除塵」aによる。 表2.1.1の2.「水拭き」bによる。	1 D 1 D	
2. 床以外の清掃				
a. 流し台	洗浄	中性洗剤を用いてスポンジたわしで丁寧に洗浄し、タオルで拭く。	1 D	
b. 厨芥容器	厨芥収集	次の作業を行う。 ・厨芥を収集する。 ・容器を中性洗剤で洗浄し、タオルで拭く。	1 D	
3. 日常巡回清掃				
a. 床（弾性床及び硬質床）	部分水拭き	汚れや水滴などが付着した部分は、モップで拭く。	1 D	

表 2.2.6(B) 湯沸室（定期清掃）

作業項目		作業内容	周期	備考
1. 床の清掃				
a. 弾性床	洗浄	① 表2.1.1の4.「洗浄」aによる。 ② 表2.1.1の4.「洗浄」bによる。	1 M 3 Y	
2. 床以外の清掃				
a. 壁	除塵 部分拭き	鳥毛はたき、静電気除塵具等で除塵する。 汚れた部分は、水又は適正洗剤を用いて拭く。	1 M 2 / M	

b. 窓ガラス (内部)	洗浄	次の作業を行う。 ・ガラス面に水又は中性洗剤を適正希釈したものを塗布し、汚れを分解して窓用スクイジーで汚水を除去する。 ・ガラス面の隅の汚水をタオルで拭き取る。 ・ガラス回りのサッシをタオルで清拭する。 ただし、サッシの溝やサッシ全体の清拭は含まない。	2 M	
c. 照明器具 (蛍光灯)	拭き	次の作業を行う。 ・洗剤(中性又は弱アルカリ性)を用いて管球、反射板、カバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は洗剤で拭き取り、タオルで乾拭きする。	1 Y	
d. 照明器具 (LED灯)	拭き	次の作業を行う。 ・管球(ライトバー)を乾拭きする。 ・器具側については、電極部分は乾拭きを実施し、その他の部分は洗剤(中性又は弱アルカリ性)を用いて反射板、カバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は洗剤で拭き取り、タオルで乾拭きする。	3 Y	
e. 吹出口・吸 込口	拭き	次の作業を行う。 ・吹出口及び吸込口下の床面を養生する。 ・吹出口、吸込口及びその周辺を除塵する。 ・吹出口、吸込口、風量調整器及びその周辺の汚れに適正洗剤を用いて除去し、水拭きして仕上げる。	1 Y	
f. 換気扇	拭き	次の作業を行う。 ・換気扇下の床面を養生する。 ・換気扇及びその周辺を除塵する。 ・換気扇及びその周辺の汚れに中性洗剤を用いて除去し、水拭きして仕上げる。	1 Y	

2.2.7 エレベーター

(a) エレベーター（日常清掃及び日常巡回清掃）の作業項目及び作業内容は、表 2.2.7(A) による。

(b) エレベーター（定期清掃）の作業項目及び作業内容は、表 2.2.7(B)による。

表 2.2.7(A) エレベーター（日常清掃及び日常巡回清掃）

作業項目		作業内容	周期	備考
1. 床の清掃				
a. 弾性床	除塵	真空掃除機で吸塵する。	1 D	
	水拭き	表2.1.1の2.「水拭き」aによる。	1 D	
b. 硬質床	除塵	表2.1.2の1.「除塵」aによる。	1 D	
	水拭き	表2.1.2の2.「水拭き」aによる。	1 D	
c. フロアマッ ト	除塵	真空掃除機で吸塵する。	1 D	
2. 床以外の清掃				
a. 壁・扉・操 作盤	部分拭き	汚れた部分は、水又は適正洗剤を用いて拭く。	1 D	
b. 扉溝	除塵	真空掃除機で吸塵する。	1 D	

3. 日常巡回清掃				
a. 床部分（弾性床及び硬質床）	部分水拭き	汚れ、水滴等が付着した部分をモップで拭く。	1 D	

表 2. 2. 7 (B) エレベーター（定期清掃）

作業項目		作業内容	周期	備考
1. 床の清掃				
a. 弾性床	洗浄	① 表2. 1. 1の4. 「洗浄」 aによる。 ② 表2. 1. 1の4. 「洗浄」 bによる。	1 M 3 Y	
b. 硬質床	洗浄	① 表2. 1. 2の4. 「洗浄」 a又はcによる。 ② 表2. 1. 2の4. 「洗浄」 bによる。	1 M 特記	
c. フロアマット	洗浄	適正洗剤や水を用いて洗浄し、土砂や汚れを取り除く。 なお、適正洗剤を用いる場合は清水で洗剤分を除去した後、十分に乾燥させる。	2 / M	
2. 床以外の清掃				
a. 壁・扉・操作盤	全面拭き	適正洗剤で拭きあげた後、水拭き及び乾拭きする。	1 M	
b. 照明器具（蛍光灯）	拭き	次の作業を行う。 ・洗剤（中性又は弱アルカリ性）を用いて管球、反射板、カバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は洗剤で拭き取り、タオルで乾拭きする。	1 Y	
c. 照明器具（LED灯）	拭き	次の作業を行う。 ・管球（ライトバー）を乾拭きする。 ・器具側については、電極部分は乾拭きを実施し、その他の部分は洗剤（中性又は弱アルカリ性）を用いて反射板、カバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は洗剤で拭き取り、タオルで乾拭きする。	3 Y	
d. 吹出口・吸込口	拭き	次の作業を行う。 ・吹出口及び吸込口下の床面を養生する。 ・吹出口、吸込口及びその周辺を除塵する。 ・吹出口、吸込口、風量調整器及びその周辺の汚れに適正洗剤を用いて除去し、水拭きして仕上げる。	1 Y	

2. 2. 8 階段

(a) 階段（日常清掃）の作業項目及び作業内容は、表 2. 2. 8 (A) による。

(b) 階段（定期清掃）の作業項目及び作業内容は、表 2. 2. 8 (B) による。

表 2.2.8(A) 階段（日常清掃）

作業項目		作業内容	周期	備考
1. 床の清掃				
a. 弾性床	除塵	表2.1.1の1. 「除塵」 aによる。	1 D	
	水拭き	表2.1.1の2. 「水拭き」 aによる。	1 D	
b. 硬質床	除塵	表2.1.2の1. 「除塵」 による。	1 D	
	水拭き	表2.1.2の2. 「水拭き」 aによる。	1 D	
c. 繊維床	除塵	表2.1.3の1. 「除塵」 aによる。	1 D	
d. 木製床	除塵	表2.1.4の1. 「除塵」 aによる。	1 D	
	拭き	表2.1.4の2. 「拭き」 による。	1 D	
2. 床以外の清掃				
a. 手すり	拭き	タオルで水拭き又は適正洗剤を用いて拭く。	1 D	
b. 窓台	除塵	タオル、ダストクロス等でほこりを取る。	1 D	
	拭き	タオルで水拭き又は適正洗剤を用いて拭く。	1 D	

表 2.2.8(B) 階段（定期清掃）

作業項目		作業内容	周期	備考
1. 床の清掃				
a. 弾性床	洗浄	① 表2.1.1の4. 「洗浄」 aによる。 ② 表2.1.1の4. 「洗浄」 bによる。	1 M 3 Y	・ 幅木、ノンスリップの清掃を含む ・ 幅木、ノンスリップの清掃を含む ・ 幅木、ノンスリップの清掃を含む
b. 硬質床	洗浄	① 表2.1.2の4. 「洗浄」 a又はcによる。 ② 表2.1.2の4. 「洗浄」 bによる。	1 M 特記	
c. 繊維床	洗浄	表2.1.3の4. 「洗浄」 による。	1 Y	
d. 木製床	洗浄	表2.1.4の4. 「洗浄」 による。	1 M	
2. 床以外の清掃				
a. 壁	除塵	鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵する。	1 M	
	部分拭き	汚れた部分を水又は適正洗剤を用いて拭く。	2 / M	
b. 窓ガラス	洗浄	次の作業を行う。 ・ ガラス面に水又は中性洗剤を適正希釈したものを塗布し、汚れを分解して窓用スクイジーで汚水を除去する。 ・ ガラス面の隅の汚水をタオルで拭き取る。 ・ ガラス回りのサッシをタオルで清拭する。ただし、サッシの溝やサッシ全体の清拭は含まない。	2 M	

c. 照明器具 (蛍光灯)	拭き	次の作業を行う。 ・洗剤(中性又は弱アルカリ性)を用いて管球、反射板、カバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は洗剤で拭き取り、タオルで乾拭きする。	1 Y	
d. 照明器具 (LED灯)	拭き	次の作業を行う。 ・管球(ライトバー)を乾拭きする。 ・器具側については、電極部分は乾拭きを実施し、その他の部分は洗剤(中性又は弱アルカリ性)を用いて反射板、カバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は洗剤で拭き取り、タオルで乾拭きする。	3 Y	

2.2.9 食堂

(a) 食堂（日常清掃）の作業項目及び作業内容は、表 2.2.9(A)による。

(b) 食堂（定期清掃）の作業項目及び作業内容は、表 2.2.9(B)による。

表 2.2.9(A) 食堂（日常清掃）

作業項目		作業内容	周期	備考
1. 床の清掃				
a. 弾性床	除塵	表2.1.1の1.「除塵」aによる。	1 D	
	水拭き	表2.1.1の2.「水拭き」aによる。	1 D	
b. 木製床	除塵	表2.1.4の1.「除塵」aによる。	1 D	
	拭き	表2.1.4の2.「拭き」による。	1 D	
2. 床以外の清掃				
a. 洗面台	拭き	スポンジで適正洗剤を塗布して洗浄し、タオルで拭く。	1 D	
b. 鏡	拭き	適正洗剤を用いて拭き、乾拭きして仕上げる。	1 D	
c. 窓台	除塵	タオル、ダストクロス等でほこりを取る。	1 D	

表 2.2.9(B) 食堂（定期清掃）

作業項目		作業内容	周期	備考
1. 床の清掃				
a. 弾性床	洗浄	① 表2.1.1の4.「洗浄」aによる。	1 M	
		② 表2.1.1の4.「洗浄」bによる。	3 Y	
b. 木製床	洗浄	表2.1.4の4.「洗浄」による。	1 M	
2. 床以外の清掃				
a. 窓台	拭き	水又は適正洗剤を用いてタオル等で拭く。	2 / M	
b. 扉	洗浄	除塵後、汚れの強い部分は適正洗剤を用いて洗浄する。	2 / M	

c. 窓ガラス	洗淨	次の作業を行う。 ・ガラス面に水又は中性洗剤を適正希釈したものを塗布し、汚れを分解して窓用スクイジーで汚水を除去する。 ・ガラス面の隅の汚水をタオルで拭き取る。 ・ガラス回りのサッシをタオルで清拭する。ただし、サッシの溝やサッシ全体の清拭は含まない。	2 M	
d. 照明器具 (蛍光灯)	拭き	次の作業を行う。 ・洗剤(中性又は弱アルカリ性)を用いて管球、反射板、カバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は洗剤で拭き取り、タオルで乾拭きする。	1 Y	
e. 照明器具 (LED灯)	拭き	次の作業を行う。 ・管球(ライトバー)を乾拭きする。 ・器具側については、電極部分は乾拭きを実施し、その他の部分は洗剤(中性又は弱アルカリ性)を用いて反射板、カバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は洗剤で拭き取り、タオルで乾拭きする。	3 Y	
f. 吹出口・吸 込口	拭き	次の作業を行う。 ・吹出口及び吸込口下の床面を養生する。 ・吹出口、吸込口及びその周辺を除塵する。 ・吹出口、吸込口、風量調整器及びその周辺の汚れに適正洗剤を用いて除去し、水拭きして仕上げる。	1 Y	

2.2.10 浴室・シャワールーム・脱衣室

(a) 浴室・シャワールーム・脱衣室（日常清掃）の作業項目及び作業内容は、表 2.2.10(A) による。

(b) 浴室・シャワールーム・脱衣室（定期清掃）の作業項目及び作業内容は、表 2.2.10(B) による。

表 2.2.10(A) 浴室・シャワールーム・脱衣室（日常清掃）

作業項目		作業内容	周期	備考
1. 床の清掃				
a. 硬質床 (浴室・シャ ワールーム 内)	洗淨	適正洗剤を用いて、ブラシ又は床磨き機により洗淨し、水拭きする。	1 D	・浴槽を含む
b. 弾性床・木 製床 (脱衣室)	除塵 拭き	表2.1.1の1.「除塵」aによる。 適正洗剤を用いて、モップ又はタオルで洗剤拭き及び水拭きする。	1 D 1 D	
2. 床以外の清 掃				

a. 壁 (浴室・シャ ワールーム 内)	拭き	スポンジで適正洗剤を塗布して洗浄し、 タオルで拭く。	1 D	・交換する方法 でもよい
b. ごみ箱	ごみ収集	ごみを収集し、容器の外で汚れた部分 は、タオルで水拭き及び乾拭きをする。	1 D	
c. 扉	部分拭き	汚れた部分を水拭き又は適正洗剤を用 いて除去する。	1 D	
d. 洗面台	拭き	スポンジで適正洗剤を塗布して洗浄し、 タオルで拭く。	1 D	
e. 鏡	拭き	適正洗剤を用いて拭き、乾拭きして仕上 げる。	1 D	
f. 椅子・洗面 器	拭き	スポンジで適正洗剤を塗布して洗浄し、 タオルで拭き、整理する。	1 D	
g. 水栓・シャ ワールーム金具等	拭き	スポンジで適正洗剤を塗布して洗浄し、 タオルで拭く。	1 D	
h. 排水口	ごみ収集	ごみを収集し、目皿を水で洗う。	1 D	
i. 足拭きマッ ト	乾燥	足拭きマットを乾燥させる。	1 D	
j. 脱衣箱・脱衣 かご	拭き	タオルで拭き、整理する。	1 D	
k. 消耗品	補充	指定された消耗品（石鹸、タオル、ペー パー類）を補充する。	1 D	

表 2. 2. 10 (B) 浴室・シャワールーム・脱衣室（定期清掃）

作業項目		作業内容	周期	備考
1. 床の清掃				
a. 弾性床 (脱衣室)	洗浄	① 表2. 1. 1の4. 「洗浄」 aによる。	特記	
b. 木製床 (脱衣室)	洗浄	② 表2. 1. 1の4. 「洗浄」 bによる。 表2. 1. 4の4. 「洗浄」 による。	3 Y 1 M	
2. 床以外の清 掃				
a. 天井	拭き	適正洗剤を用いて洗剤拭き及び水拭きす る。	2 / M	
b. 扉	全面拭 き	適正洗剤を用いて洗剤拭き及び水拭きす る。	2 / M	
c. 窓ガラス	洗浄	次の作業を行う。 ・ガラス面に水又は中性洗剤を適正希釈 したものを塗布し、汚れを分解して窓 用スクイジーで汚水を除去する。 ・ガラス面の隅の汚水をタオルで拭き取 る。 ・ガラス回りのサッシをタオルで清拭す る。ただし、サッシの溝やサッシ全体 の清拭は含まない。	2 M	

d. 照明器具 (蛍光灯)	拭き	次の作業を行う。 ・洗剤(中性又は弱アルカリ性)を用いて管球、反射板、カバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は洗剤で拭き取り、タオルで乾拭きする。	1 Y
e. 照明器具 (LED灯)	拭き	次の作業を行う。 ・管球(ライトバー)を乾拭きする。 ・器具側については、電極部分は乾拭きを実施し、その他の部分は洗剤(中性又は弱アルカリ性)を用いて反射板、カバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は洗剤で拭き取り、タオルで乾拭きする。	3 Y
f. 換気扇	拭き	次の作業を行う。 ・換気扇下の床面を養生する。 ・換気扇及びその周辺を除塵する。 ・換気扇及びその周辺の汚れに中性洗剤を用いて除去し、水拭きして仕上げる。	1 Y

2.2.11 ごみ集積所

(a) ごみ集積所(日常清掃)の作業項目及び作業内容は、表2.2.11(A)による。

(b) ごみ集積所(定期清掃)の作業項目及び作業内容は、表2.2.11(B)による。

表2.2.11(A) ごみ集積所(日常清掃)

作業項目		作業内容	周期	備考
1. 床の清掃				
a. 硬質床	除塵	表2.1.2の1.「除塵」aによる。	1 D	
	水拭き	表2.1.2の2.「水拭き」bによる。	1 D	
2. 床以外の清掃				
a. 吸殻収集容器	拭き	容器で汚れた部分はタオルで乾拭きする。	1 D	
b. ごみ収集容器	拭き	容器の外面で汚れた部分はタオルで水拭き及び乾拭きをする。	1 D	
c. 排水口(溝)	ごみ収集	ごみを収集し、目皿を水で洗う。	1 D	
d. 扉	部分拭き	汚れが目立つ部分は、タオルで水拭き又は乾拭きする。	1 D	

表2.2.11(B) ごみ集積所(定期清掃)

作業項目		作業内容	周期	備考
1. 床の清掃				
a. 硬質床	洗淨	表2.1.2の4.「洗淨」cによる。	1 M	
2. 床以外の清掃				
a. 壁	除塵 部分拭き	鳥毛はたき、静電気除塵具等で除塵する。汚れた部分は、水又は適正洗剤を用いて拭く。	1 M 2 / M	
b. 扉	全面拭き	適正洗剤を用いて洗剤拭き及び水拭きする。	2 / M	

c. 照明器具 (蛍光灯)	拭き	次の作業を行う。 ・洗剤(中性又は弱アルカリ性)を用いて管球、反射板、カバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は洗剤で拭き取り、タオルで乾拭きする。	6 M
d. 照明器具 (LED灯)	拭き	次の作業を行う。 ・管球(ライトバー)を乾拭きする。 ・器具側については、電極部分は乾拭きを実施し、その他の部分は洗剤(中性又は弱アルカリ性)を用いて反射板、カバーなどを拭き、水拭きして仕上げる。汚れが落ちない場合は洗剤で拭き取り、タオルで乾拭きする。	3 Y
e. 換気扇	拭き	次の作業を行う。 ・換気扇下の床面を養生する。 ・換気扇及びその周辺を除塵する。 ・換気扇及びその周辺の汚れに中性洗剤を用いて除去し、水拭きして仕上げる。	6 M

第3節 ごみ運搬処理

2.3.1 ごみ運搬処理

ごみ運搬処理の作業項目及び作業内容は、表2.3.1による。

表 2.3.1 ごみ運搬処理

作業項目	作業内容	周期	備考
1. 中継所から集積所までの運搬	ごみ中継所に集められたごみ・吸殻等を区別して集積所まで運搬する。	1 D	
2. 分別	集められたごみを種類ごとに分別する。	1 D	
3. 梱包	集められたごみを適当な分量に梱包する。	1 D	

第3章 建物外部の清掃

第1節 窓ガラス

3.1.1 作業資格者

高所作業等を行う場合は、労働安全衛生法上の要件を満たす者を配置する。

3.1.2 作業内容

(a) 窓ガラス(定期清掃)の作業項目及び作業内容は、表3.1.1による。

(b) 熱線反射ガラスは、窓用スクイジー等で表面の金属皮膜を傷つけないよう配慮するとともに、微粉塵によっても傷がつくおそれがあるので、発傷を最小限にとどめるよう、水又は洗浄液を十分に塗布してからスクイジー操作又は作業を行う。

また、金属皮膜は、強酸性洗浄剤や強アルカリ性洗浄剤等に影響を受けるので、水又は中性洗剤を使用する。

(c) 飛散防止等を目的としてガラス面にフィルムが貼られている場合は、(b)による。

(d) ガラス損傷の防止対策を必要に応じて実施する。

表 3.1.1 窓ガラス(定期清掃)

作業項目		作業内容	周期	備考
窓ガラス	洗浄	次の作業を行う。 ・ガラス面に水又は中性洗剤を適正希釈したものを塗布し、汚れを分解して、窓用スクイジーで汚水を除去する。 ・ガラス面の隅に残った汚水をタオル等で拭き取る。 ・ガラス回りのサッシに付着した汚水をタオル等で清拭する。ただし、サッシの溝やサッシ全体の清拭は含まない。	2 M	

第2節 外部建具

3.2.1 適用範囲

本項は、外部建具のアルミニウム製、ステンレス製及び樹脂製に適用する。

3.2.2 作業内容

アルミニウム製、ステンレス製及び樹脂製建具（定期清掃）の作業項目及び作業内容は、表 3.2.1 による。

表 3.2.1 アルミニウム製、ステンレス製及び樹脂製建具(定期清掃)

作業項目		作業内容	周期	備考
1. 通常の汚れ	洗浄	次の作業を行う。 ・ブラシ又は真空掃除機等で建具の表面や溝の除塵をする。 ・適正洗剤を用いて汚れを除去し、汚水を拭き取る。 ・タオルで水拭きを行い、乾拭きをして仕上げる。	1 Y	
2. 著しい汚れ	洗浄	次の作業を行う。 ・ブラシ又は真空掃除機等で建具の表面や溝の除塵をする。 ・適正洗剤を用いて汚れを磨き洗いして除去し、汚水を拭き取る。 ・タオルで水拭きを行い、乾拭きをして仕上げる。	特記	

第3節 外壁

3.3.1 適用範囲

本項は、外壁のアルミニウム製、ステンレス製、タイル張り、石張り及びコンクリート打放し部分に適用する。

3.3.2 作業資格者

3.1.1「作業資格者」による。